

今こそ未来形の持続可能な地域社会を

2026年4月17日

～ 人口危機を乗り越える地元の創り直し

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長
上越市創造行政研究所 所長(兼務) 藤山 浩

1. 倉吉市の人口定常化と地域経済循環
2. 地区別分析 & 地区ぐるみ定住
3. 人口減少の恐ろしさ
4. みんながつながる「広場」を！
5. みんながつながる「会社」を！
6. 地域の未来形の中で課題解決！



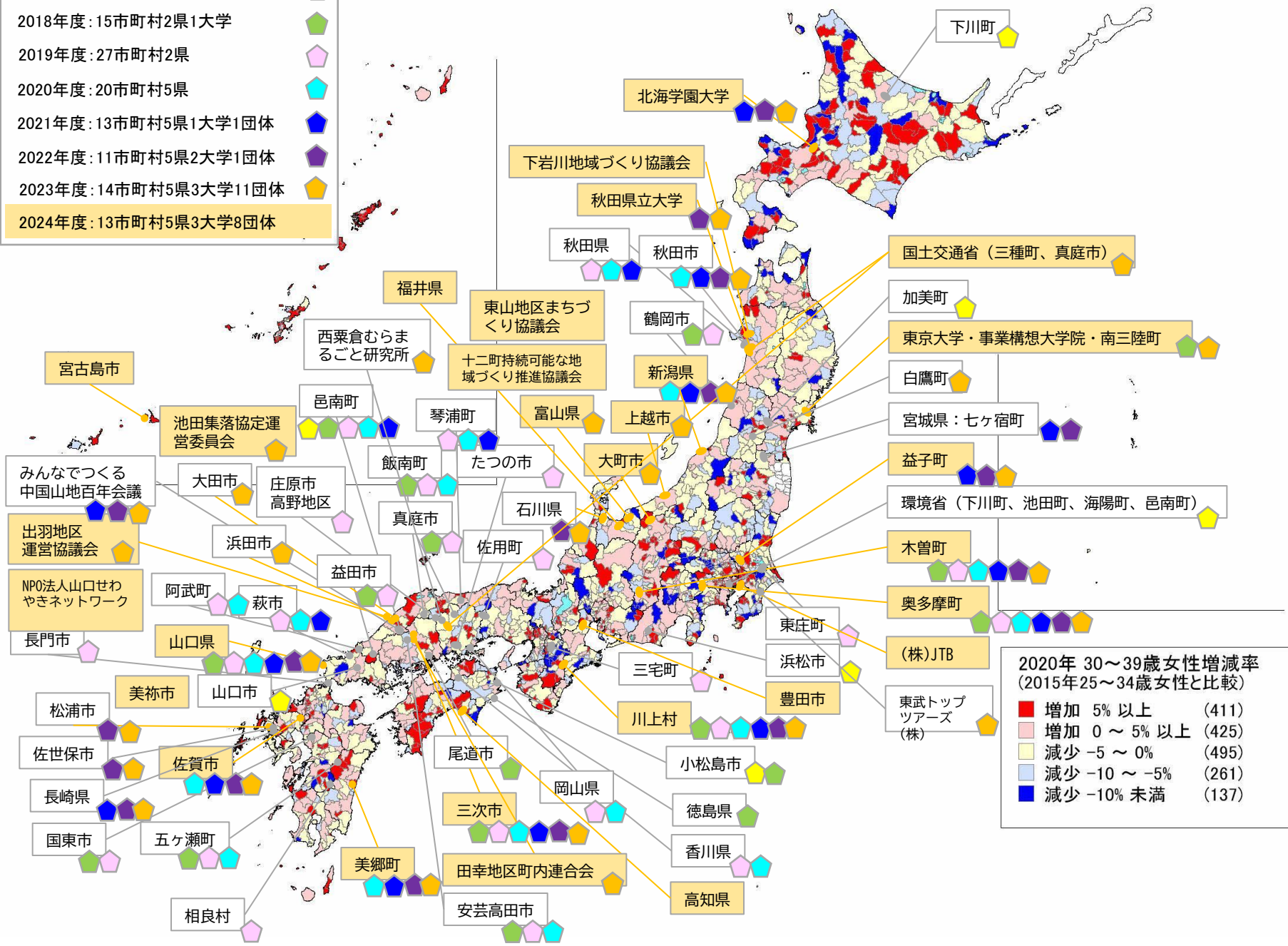
自宅は日本一の清流を望む断崖に立つ



研究所オフィス「さざ波テラス」は日本海のそば

持続可能な地域社会総合研究所 共同研究実施地域

- 2017年度: 8市町村1省庁 ◆
- 2018年度: 15市町村2県1大学 ◆
- 2019年度: 27市町村2県 ◆
- 2020年度: 20市町村5県 ◆
- 2021年度: 13市町村5県1大学1団体 ◆
- 2022年度: 11市町村5県2大学1団体 ◆
- 2023年度: 14市町村5県3大学11団体 ◆
- 2024年度: 13市町村5県3大学8団体 ◆



2020年 30～39歳女性増減率
(2015年25～34歳女性と比較)

■ 増加 5%以上	(411)
■ 増加 0～5%以上	(425)
■ 減少 -5～0%	(495)
■ 減少 -10～-5%	(261)
■ 減少 -10%未満	(137)

最近の著作
「田園回帰1%戦略」
 ～地元にと仕事を
 取り戻す～
 (農文協、2015年6月)
 全国で1万部突破



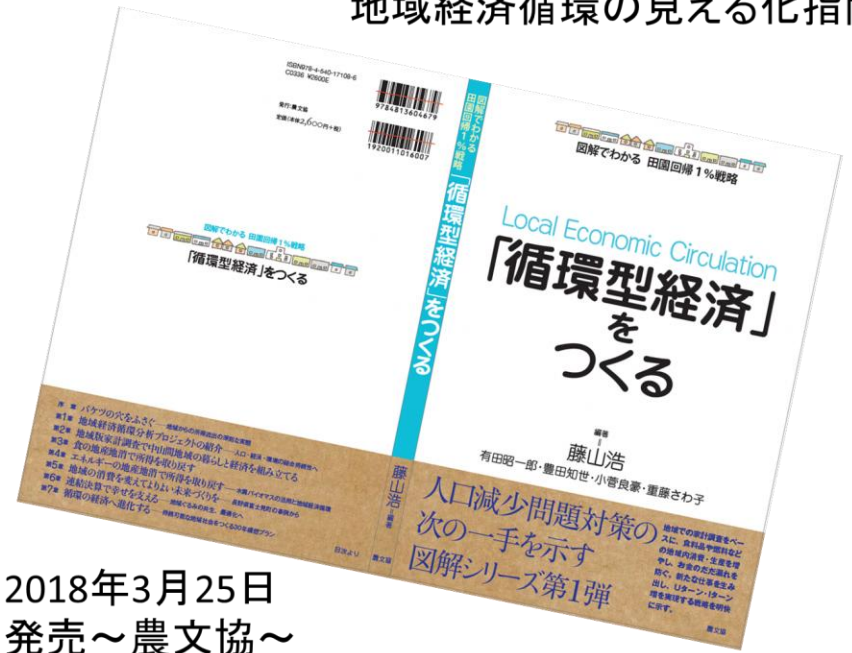
「移住1%戦略」として
 2015年12月9日NHK番組
 「クローズアップ現代」で紹介

『「消滅論」で意気消沈した自治
 体にぜひ、本書で次の一歩を』
 (朝日新聞、2015年8月16日書
 評 諸富 徹氏評)

「過疎対策のバイブル的存在」
 (読売新聞、2015年7月5日書評
 濱田 武士氏評)

「地域再生分野の書籍の決定版
 中の決定版」(毎日新聞、2015年
 10月18日書評 藻谷浩介氏評)

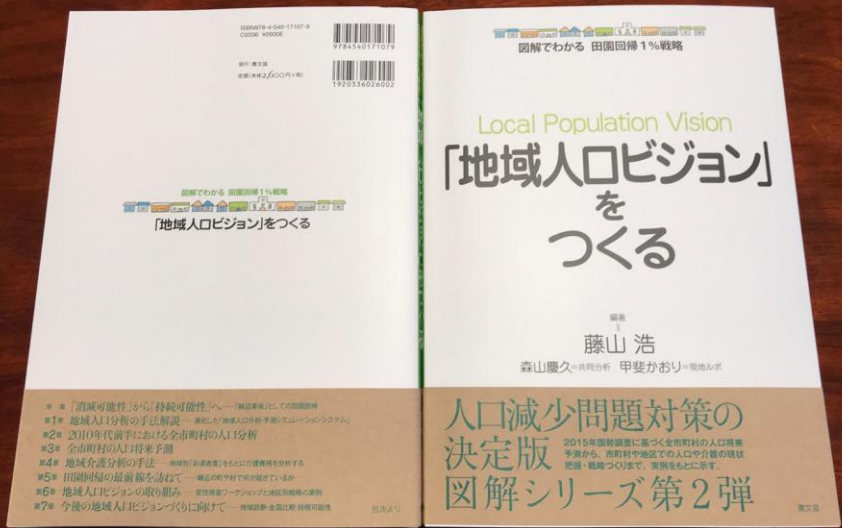
地域経済循環の見える化指南



長続きする地元経済の創り方

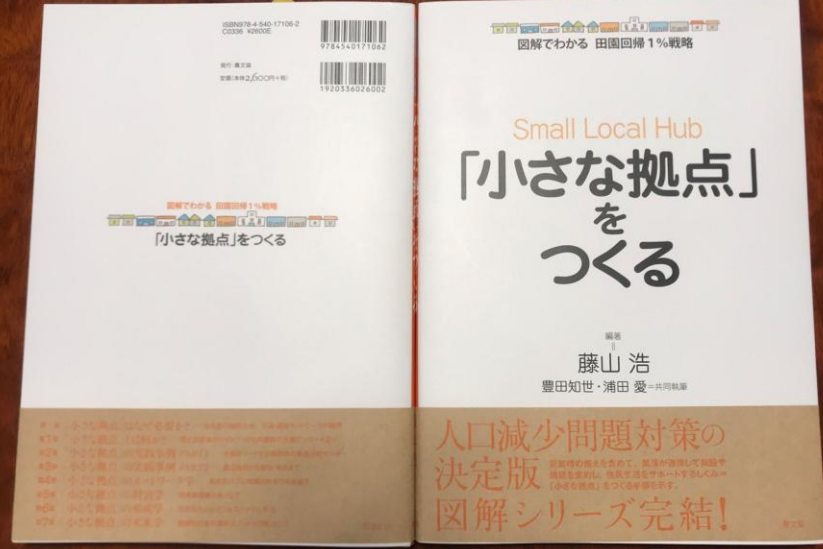
2018年3月25日
 発売～農文協～

人口対策・定住実現の決定版



2018年12月5日発売～農文協～

全国で展開中の「小さな拠点」の初の本格解説本！



2019年12月21日発売～農文協～

日本の「失敗の本質」を
年代ごとに総括。

2020年・毎日新聞書評
私の「冊」選定（藻谷氏）

「地元」から
日本をいかに
再構築するか!!

ひたすら「大規模集中・グローバル」を進める
道の先に、私たちの暮らし、地域、地球の持続
可能性は、見えてこないのです。今回のコロナ
禍からの脱出を、ワクチン開発といった対症
療法だけに終わらせてはなりません。「大規
模集中・グローバル」路線は、コロナ禍以外
にも、地球温暖化や生態系破壊、格差拡大と
いった全面的な限界状況に直面しているか
らです。私たちが「大規模・集中・グローバル」
という「巨大な」ボタンの掛け違いを正さな
い限り、正しい持続可能な道に復帰できな
いのではないのでしょうか。――「はじめに」より

ISBN978-4-309-50413-1
C0230 ¥880E



9784309504131



1920230008807

定価 本体880円(税別)

日本はどこで 間違えたのか

コロナ禍で噴出した「一極集中」の積弊

Fujiyama Ko
藤山 浩

停滞と閉塞
にあえぐ、
この国の
病巣を摘出!

地域社会を切り捨て
選択と集中に溺れた日本。
持続可能な社会へと
再生する処方箋とは!!

KAWADE 夢新書

KAWADE 夢新書

脱「極集中」戦略を
地元の創り直しから実現

2020年10月30日発売～河出書房新社～1万部突破

クローズアップ現代 2022年8月3日(水) 「移住新時代 過疎地域にチャンスあり」



都会を離れ、過疎地にこそ自分の可能性を伸ばすチャンスがあると気づき始めた若者たち。
“移住新時代”に変貌を遂げる過疎地域、そこに暮らす若者たちの価値観・生き方の変化を見
つめます。■スタジオ出演 藤山 浩 ■キャスター 桑子真帆(アナウンサー)

NHK「日曜討論」2024年8月4日(水) 「人口“急減”時代 これからの地方は」



地方はいま...おはよう日本
「人口“急減”時代」と連動
して徹底討論！▽コンパクト
シティをどう考える？水
道・公共交通などインフラ
維持は▽医療・介護...住民
サービスは？

出演者・キャストほか



出演者

小林 味愛
「陽と人」代表



出演者

塩津 ゆりか
京都産業大学 教授



出演者

中空 麻奈
経済財政諮問会議 議員・B
NPパリバ証券グローバル
マーケット統括本部 副会長



出演者

藤山 浩
持続可能な地域社会総合
研究所 所長



出演者

吉岡 律司
岩手県矢巾町 政策推進監・
岩手県立大学 客員准教授

崩壊危機の地球と地域～持続「バトン」が落ちる！？

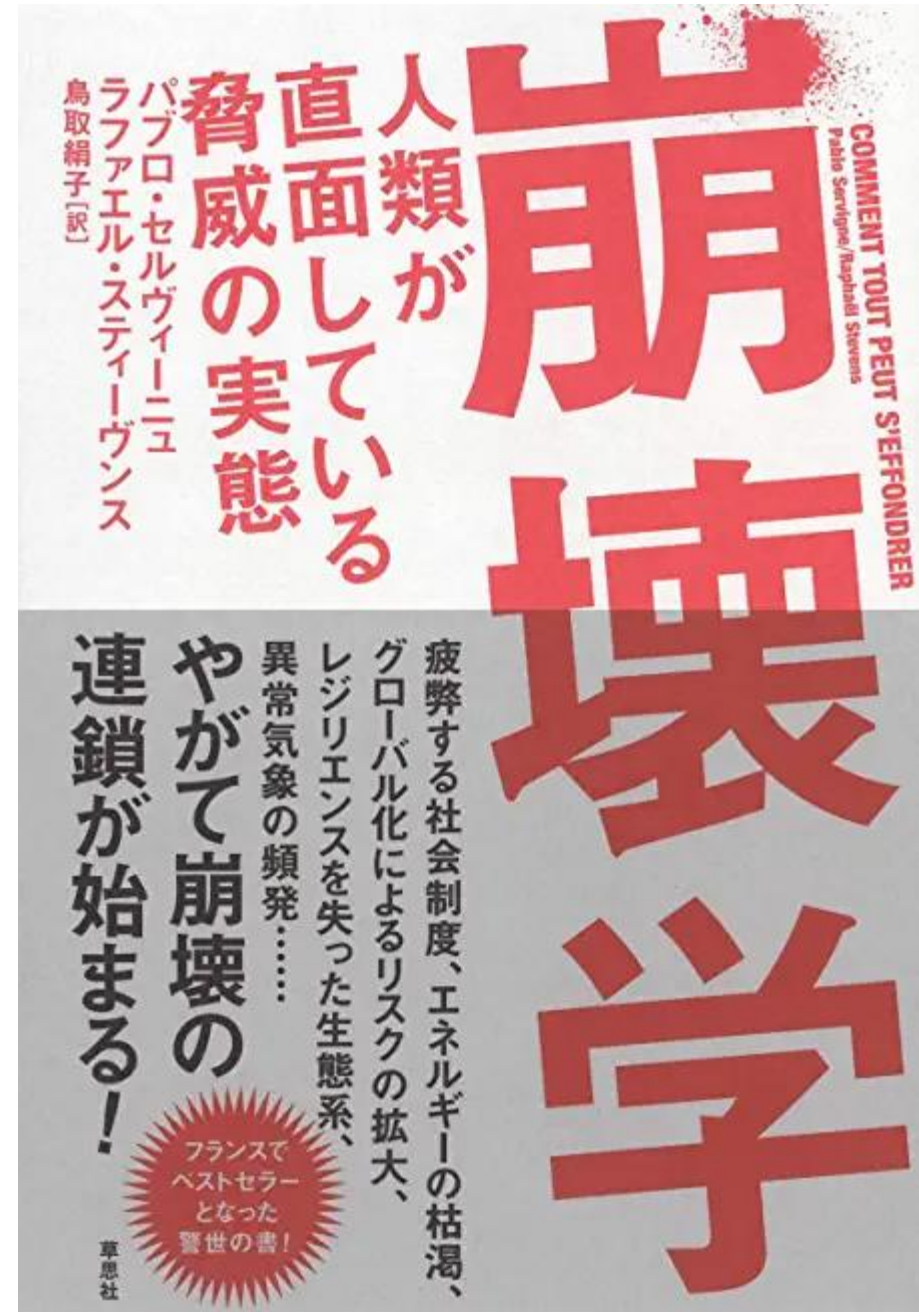
「崩壊学」

パブロ・セルヴィーニュ、ラファエル・ステューブンス、2019年、草思社

2015年にフランスで出版され、ベストセラー

今や地球温暖化など文明の随所に全面的崩壊の兆候が現れていることを指摘。その防止策として、「**地域的なレジリエンス**」を作り出すことを求める。

グローバルな「将棋倒し」を防ぐためには、暴走する「大規模・集中・グローバル」から一定程度「切断」されても生き残り得る、**強靱な小地域を創っていく必要**があると主張。



これからの基本的な地域戦略

「地元から世界を創り直す」時代

未曾有の人口減少
→新たな**世代継承**創出

10年であらゆる分野で「バトン」が落ちる

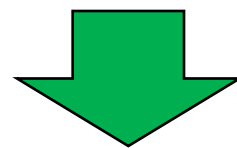
家族と暮らしの弱体化
→新たな**共生圏**創出

世帯平均規模：北海道1.79人（2025年）

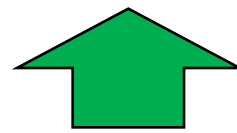
循環型社会への進化
→新たな**自給循環圏**創出

海外依存の借り物の豊かさ→大地にアンカー

地域の固有性＝
全国一律、トップダウン、「選
択と集中」手法では無理



最重要＝地域の
自己決定 & デザイン権
→ローカルコモンズ＝
(共同・共生)の再構築



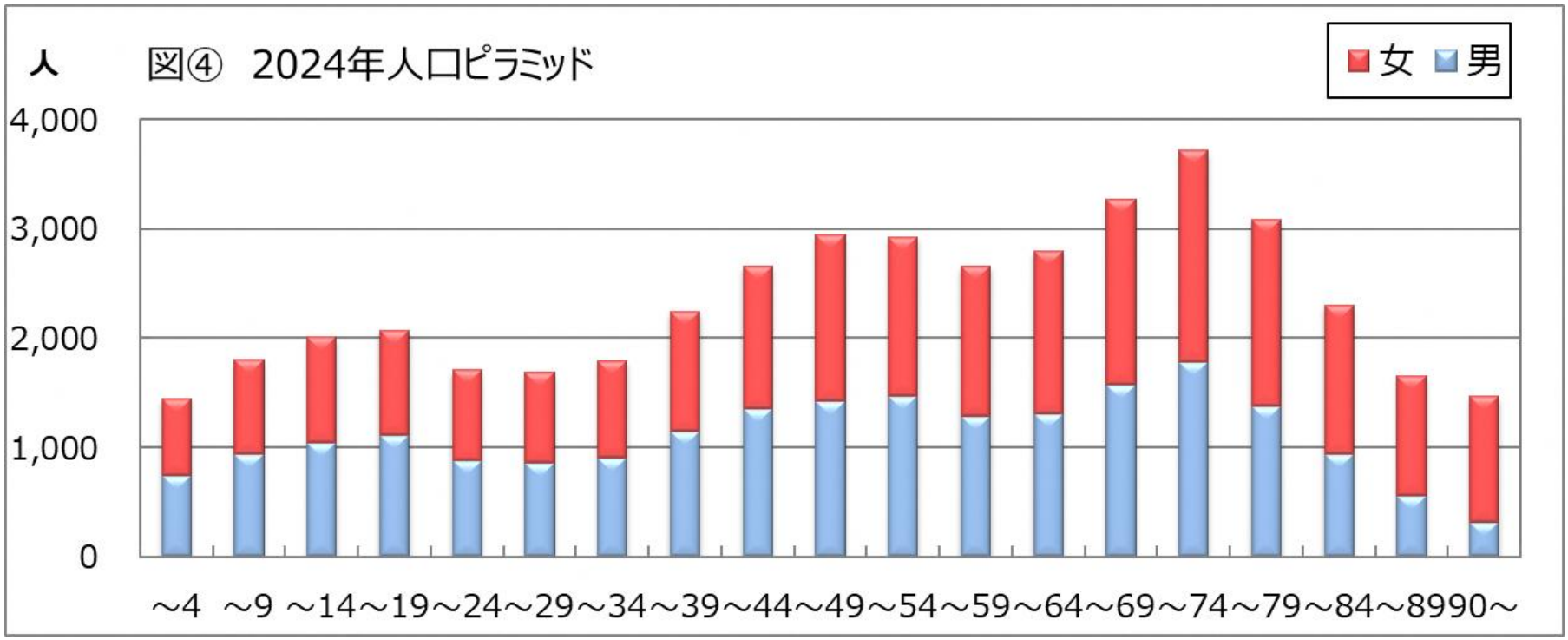
行政は、分野横断のチー
ムと予算で支援

1. 倉吉市の人口定常化と地域経済循環

(1) 現状分析

* 2019年・2024年の
住民基本台帳に基づく

①現在の年齢構成

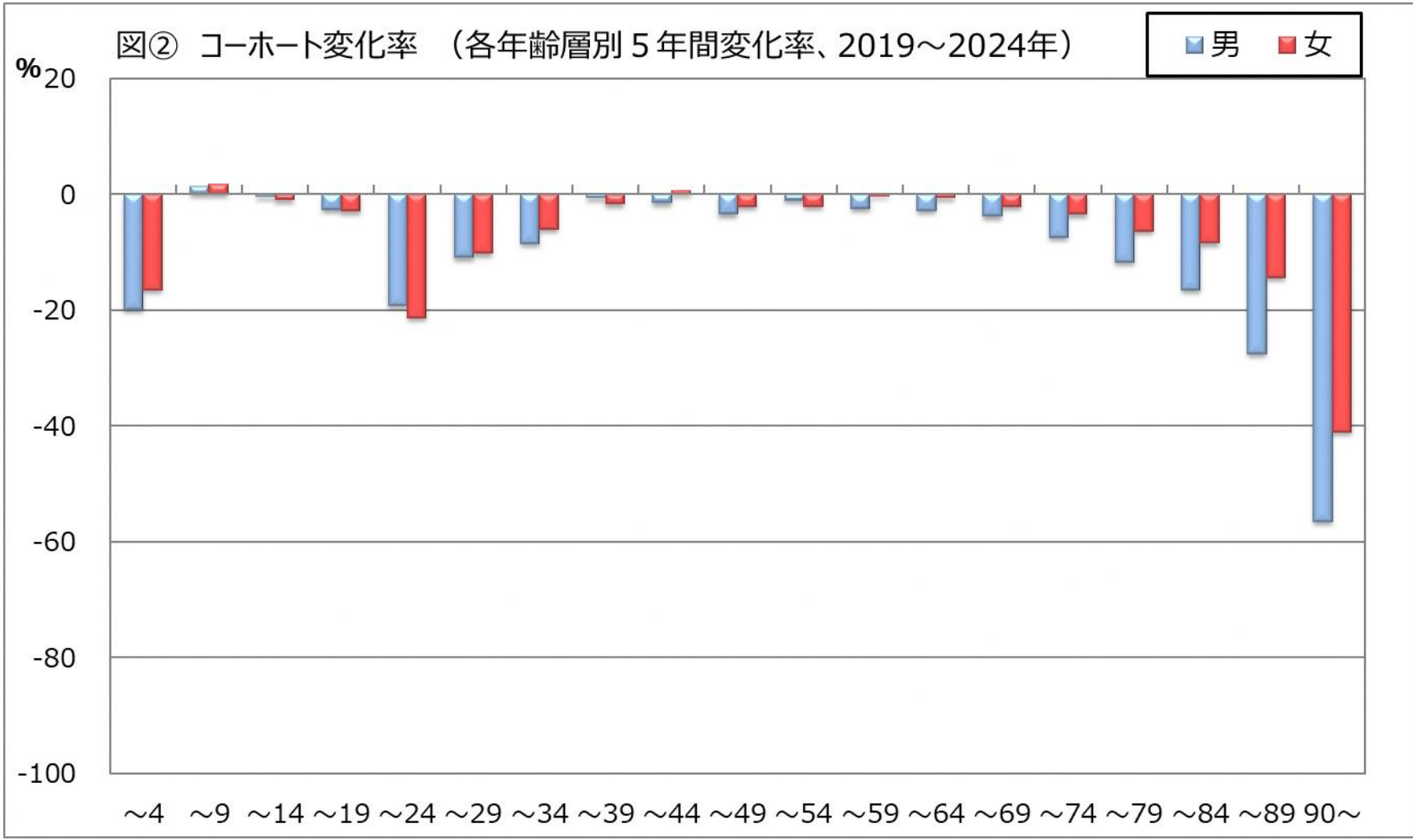


人口44,212人、高齢化率35.0%（75歳以上19.2%）

主力世代＝70代前半

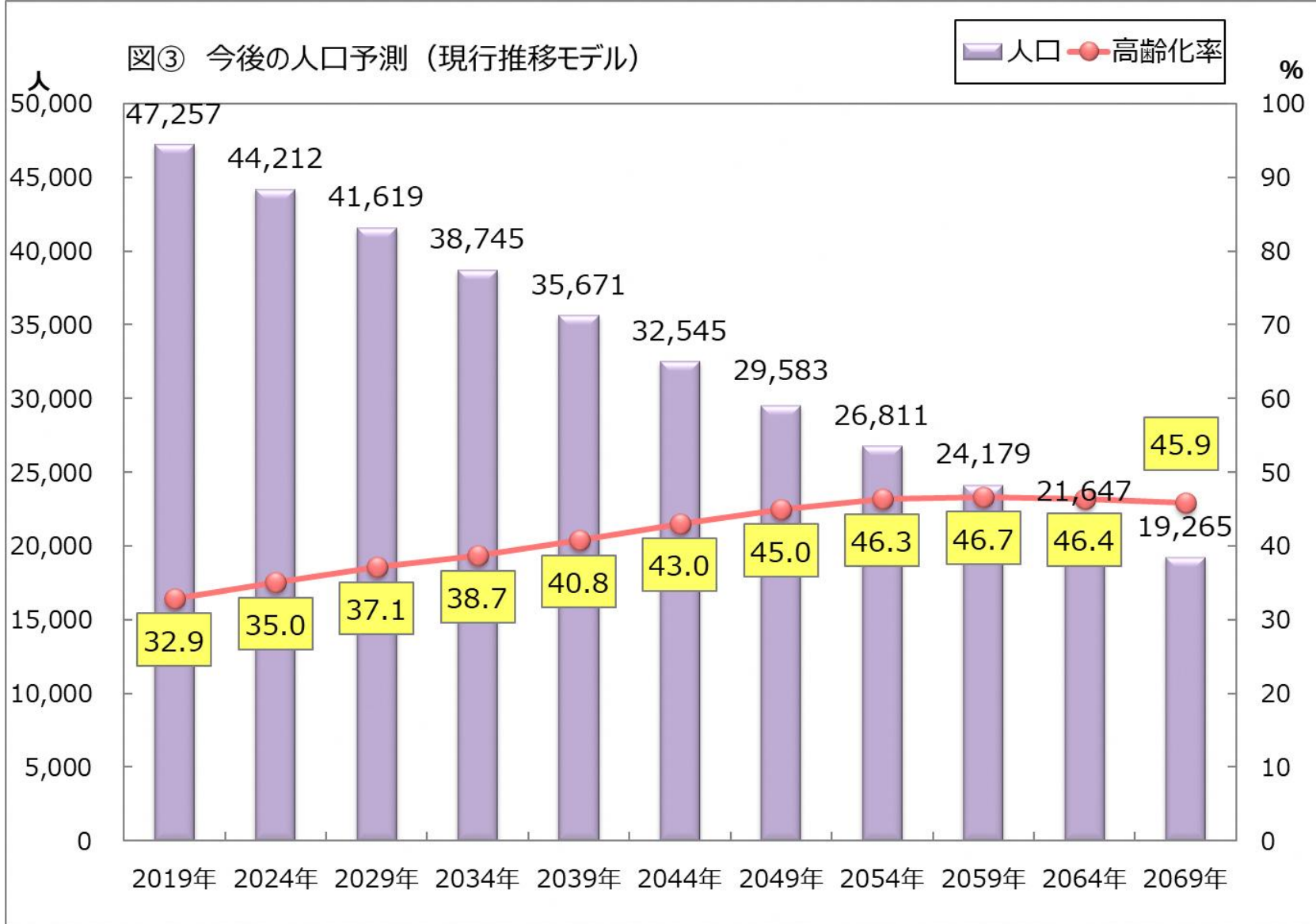
* 農業の平均引退年齢76.7歳

②年齢階層別の人口増減率(2019~2024年)



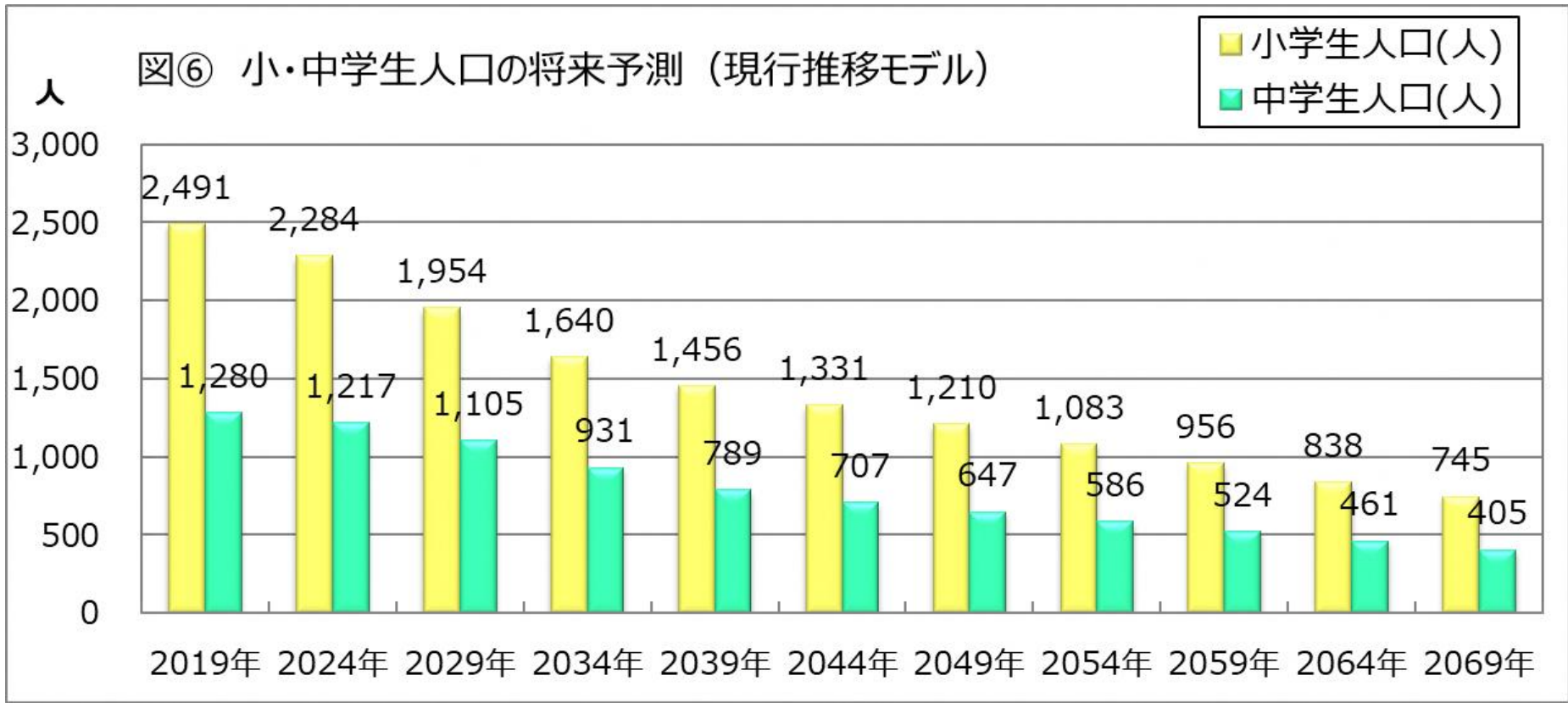
5~9歳は転入超過となっているが、4歳以下の減少と20代での転入超過を取り戻していない。

③ 将来予測＜現状推移シナリオ＞ 2019～2024年版



今後30年間で人口は4割減。高齢化率も上昇が続く。

②小・中学生の人口予測（現状推移シナリオ） 2019～2024年版



小・中学生数は、今後30年で半減ペース。

(3) 組み合わせ最適シナリオ(定住増加編)




【出生率・流出率・定住増加】の3つを組み合わせ最適シナリオが検討してみる。

●出生率: 1.80に向上(現在1.59)

●流出率: 10代後半~20代前半の流出率を男19%、女21%と現状を維持

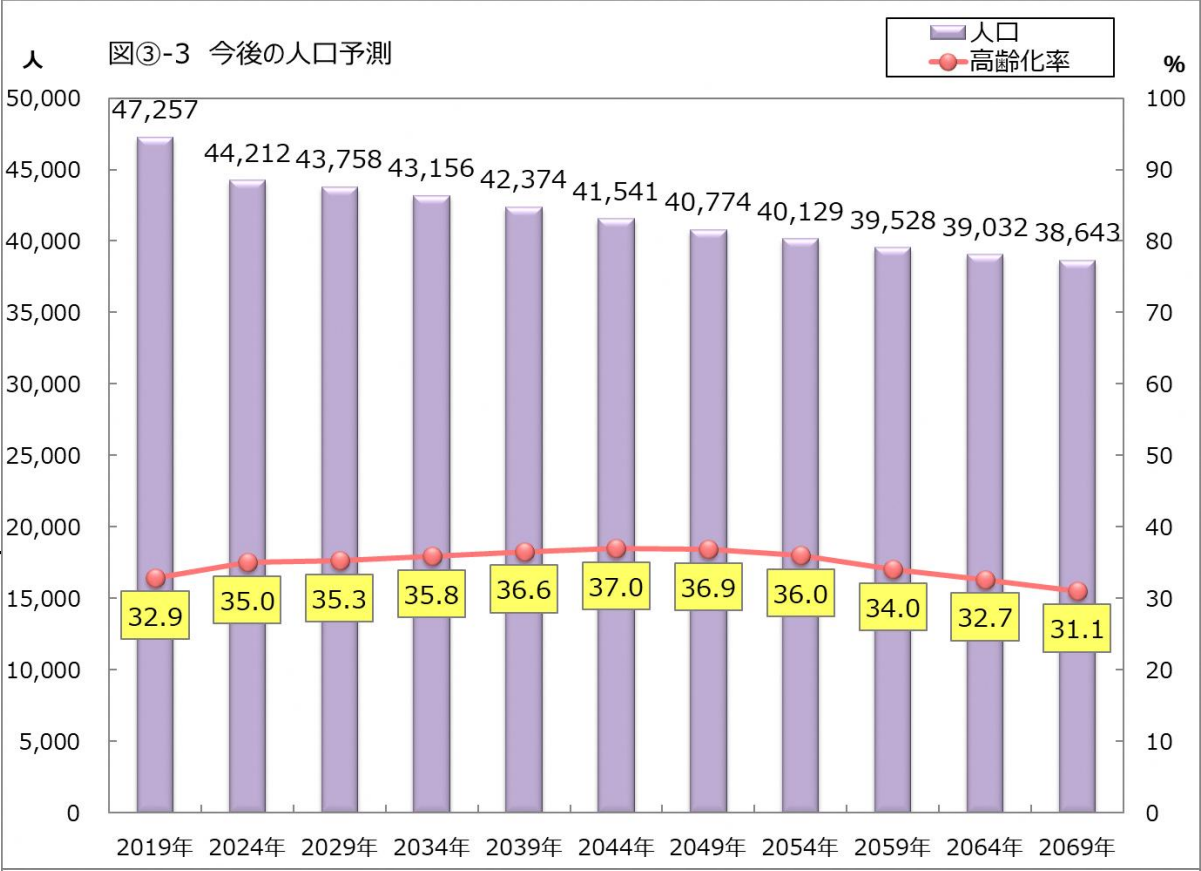
1%戦略で人口定常化が見えてくる!

●定住増加組数: 現在人口の0.8%分増加(住民125人に1人)

20代前半男女1組(2名)		50組	合計 150組 350人
30代子連れ夫婦1組(3名)		50組	
60代定年帰郷夫婦1組(2名)		50組	

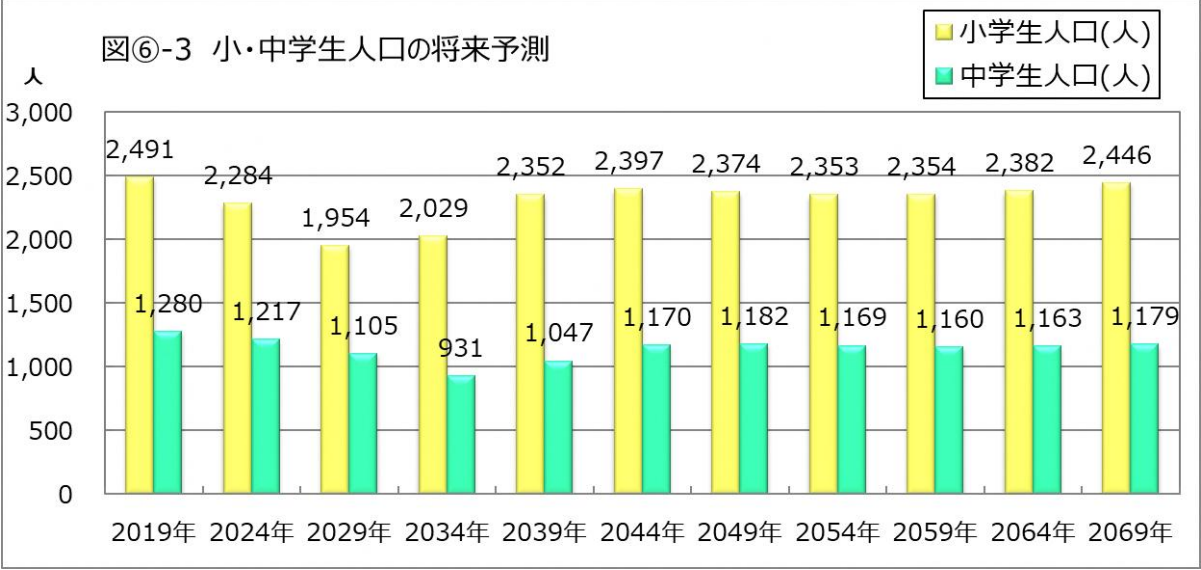
① 今後の人口 ・高齢化率予測

4万人弱
でほぼ安
定へ



② 小・中学生 の人口予測

現水準以
上に回復
安定へ



●地域経済の悩み、疑問

=なぜ、頑張っているのに
住民の所得が増えて行かない
のだろう!?

●答え

=稼ぐ以上に、外へお金が流れ
出しているから!

●取り組み

=ちゃんと地域内外
のお金の流れを調
べて、穴をふさご
う!、中で創り出し
回していこう!



地域経済ただ漏れバケツの
修復作業中ですよ。
もう今、地域は
穴だらけのバケツ状態。
入ったおカネが次から次へと
地域の外へ漏れていっちゃう。
穴をふさげは地域の所得も増えるんです。
穴ふさぎは地道だけど結果がすぐ見えて
やりがいのある仕事ですよ。
1%ずつ頑張りましょう!

藤山浩さん(鳥取県中山間地域研究センター研究統括員)
ただいま著書『田園回帰1%戦略』(農文協刊)が大ヒット中!

「漏れバケツ」理論

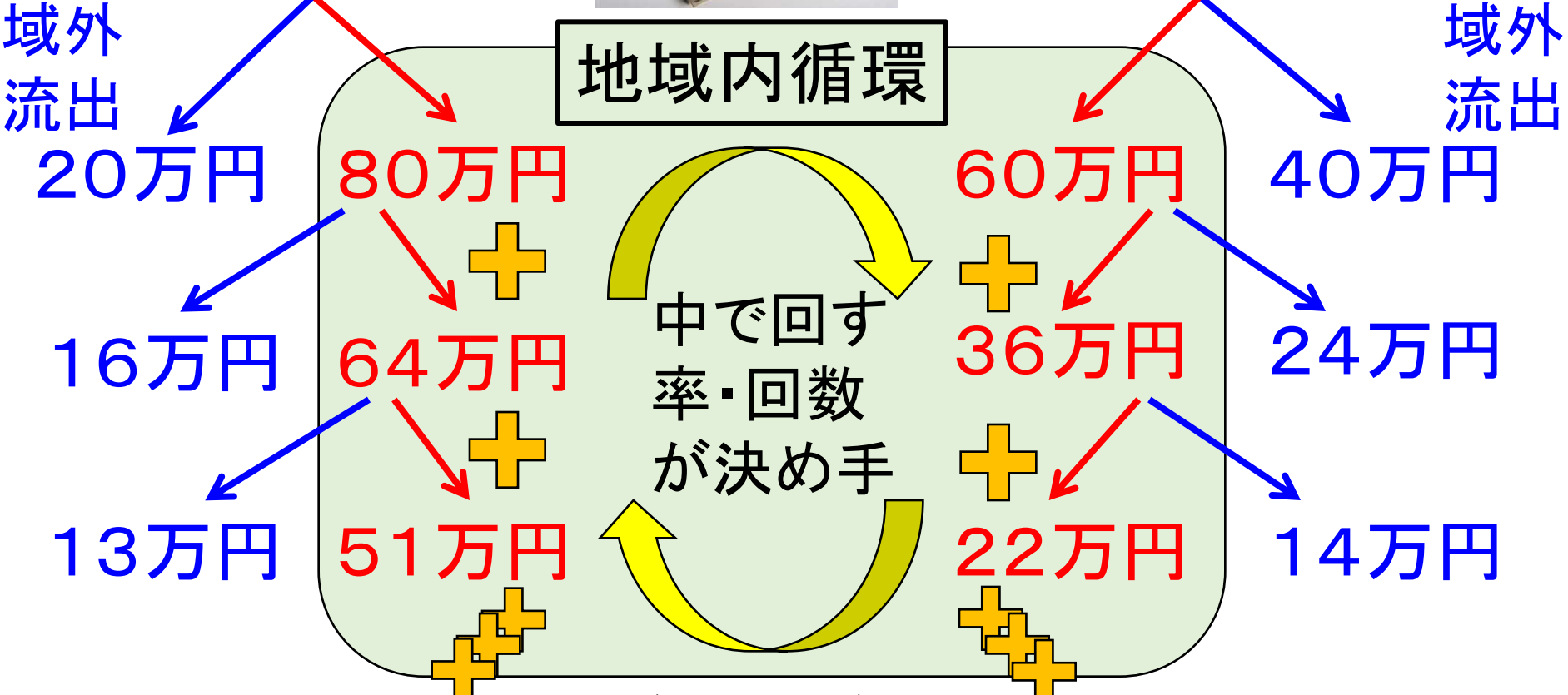
地域内の経済循環が重要～地域内乗数効果とは？

同じ100万円を獲得しても、..



地域内循環率
80%の場合

地域内循環率
60%の場合



域内需要合計500万円

> 2倍 >

域内需要合計250万円

益田市における地産地消の実態調査（2018年）

下表は、益田市のすべての飲食店・パン屋の、全品目を対象とした仕入に関する集計値です。（食材仕入に限定した結果で、飲食店・パン屋自体の所得額は含んでおりません。）
地元市内での仕入率は、半分を割る46.2%、地元産品の利用率は1割強の12.0%に留まっています。

飲食店等からの経済フローの実態

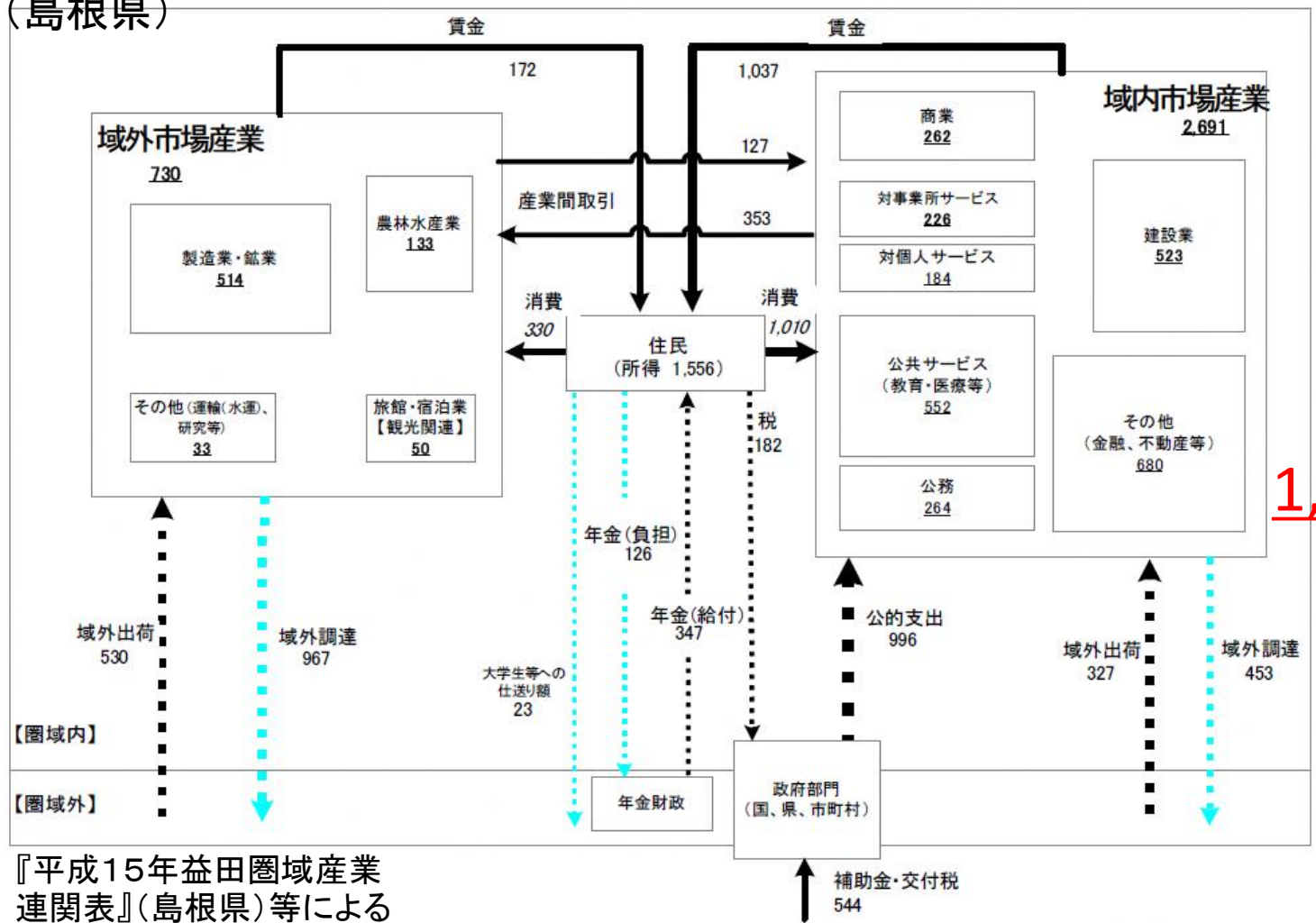
地元での仕入率は5割弱

項目	各値
食料品総購入額：	¥1,516,211,737
域内購入（仕入）額：	¥700,064,644
域内購入（仕入）率：	46.2%
地元（益田市）産品購入額：	¥181,682,435
地元（益田市）産品利用率：	12.0%
所得創出総額：	¥138,700,882
LM3（地域内乗数3）：	1.56

地元産品利用率は1割強

益田都市圏(人口7万)経済循環: 域外調達1,420億円(H15) (単位:億円)

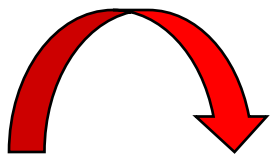
(島根県)



住民の所得額

1,556億

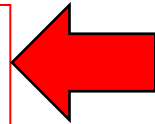
にほぼ匹敵



域外流出の1%を取り戻せば、
 所得の1%取戻しが見えて来る

地域経済の1%戦略

毎年、外から買う量を100から99に減らし、
 1ほど、地域内で原材料から創り始める

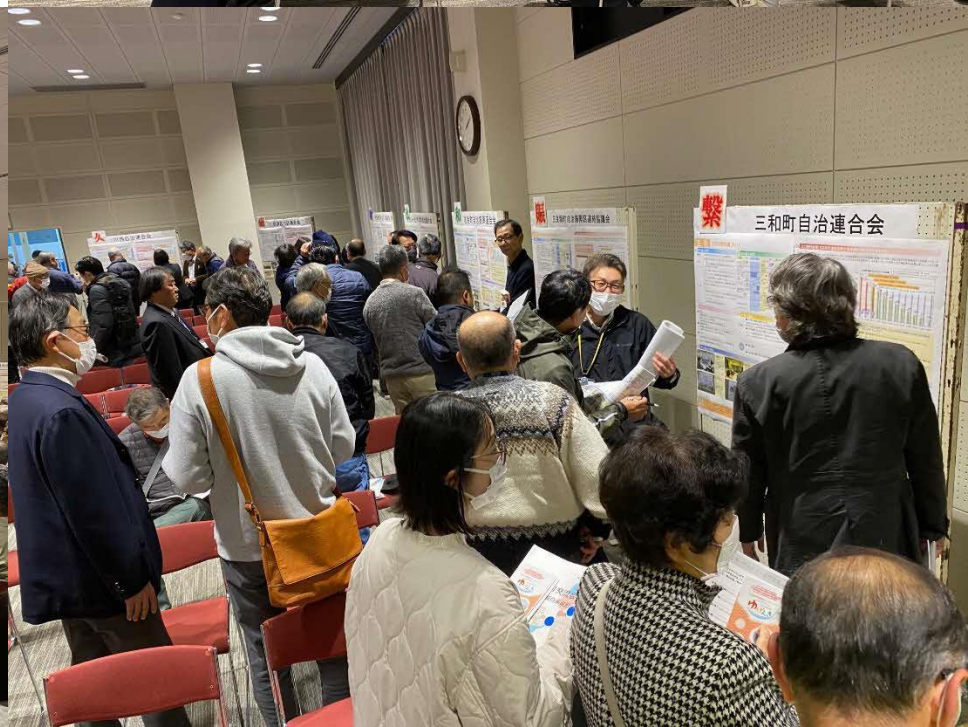


2. 地区別分析&地区ぐるみ定住

(1) 広島県三次市

■地区別人口、介護分析、地元関係図作成を毎年継続

■まちづくり交流会で地区同士の相互進化へ



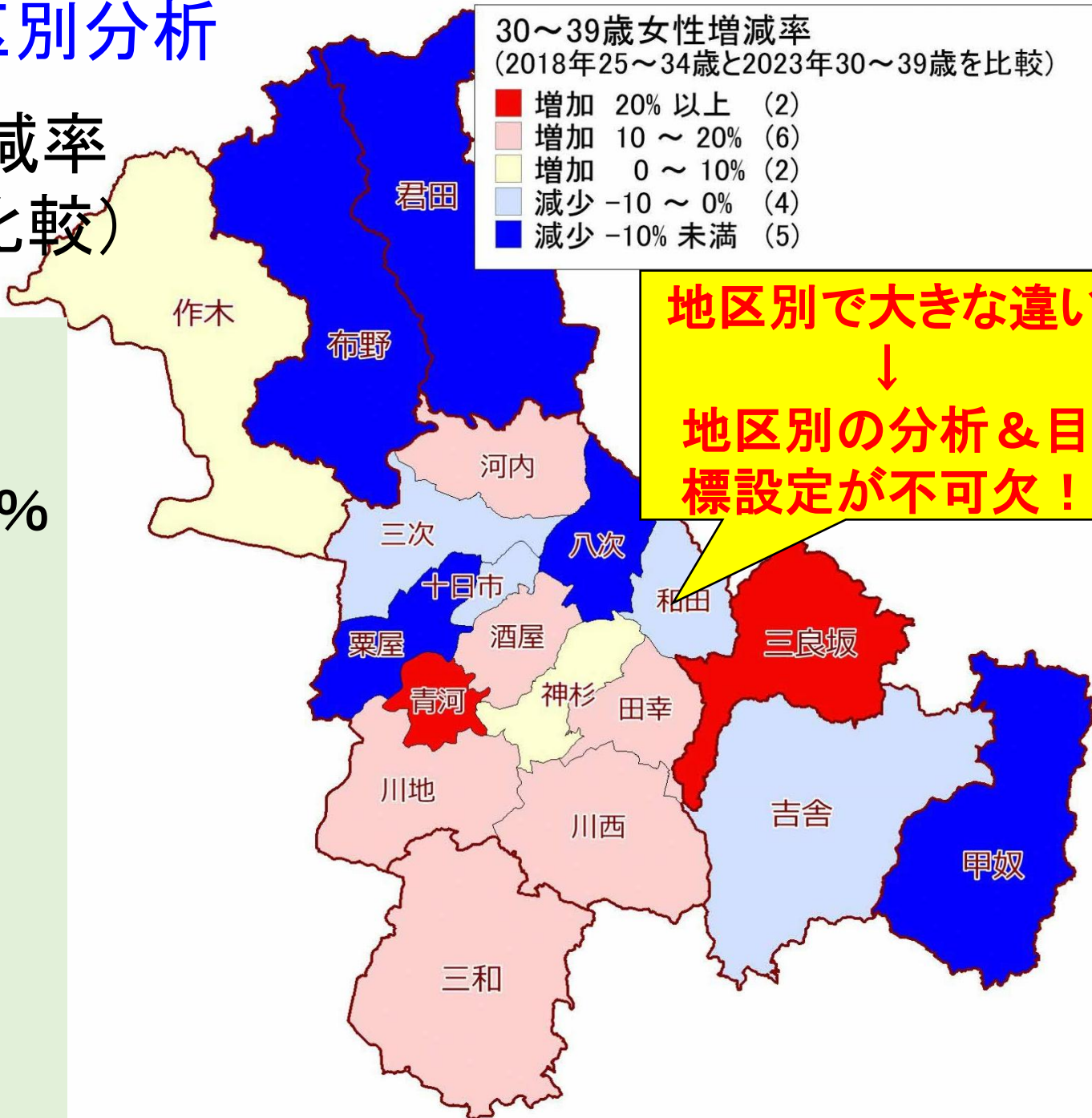
■ 重要な地区別分析

30代女性増減率 (コーホート比較)

30～39歳女性増減率
(2018年25～34歳と2023年30～39歳を比較)

- 増加 20% 以上 (2)
- 増加 10～20% (6)
- 増加 0～10% (2)
- 減少 -10～0% (4)
- 減少 -10% 未満 (5)

地区別で大きな違い
↓
地区別の分析&目標設定が不可欠!



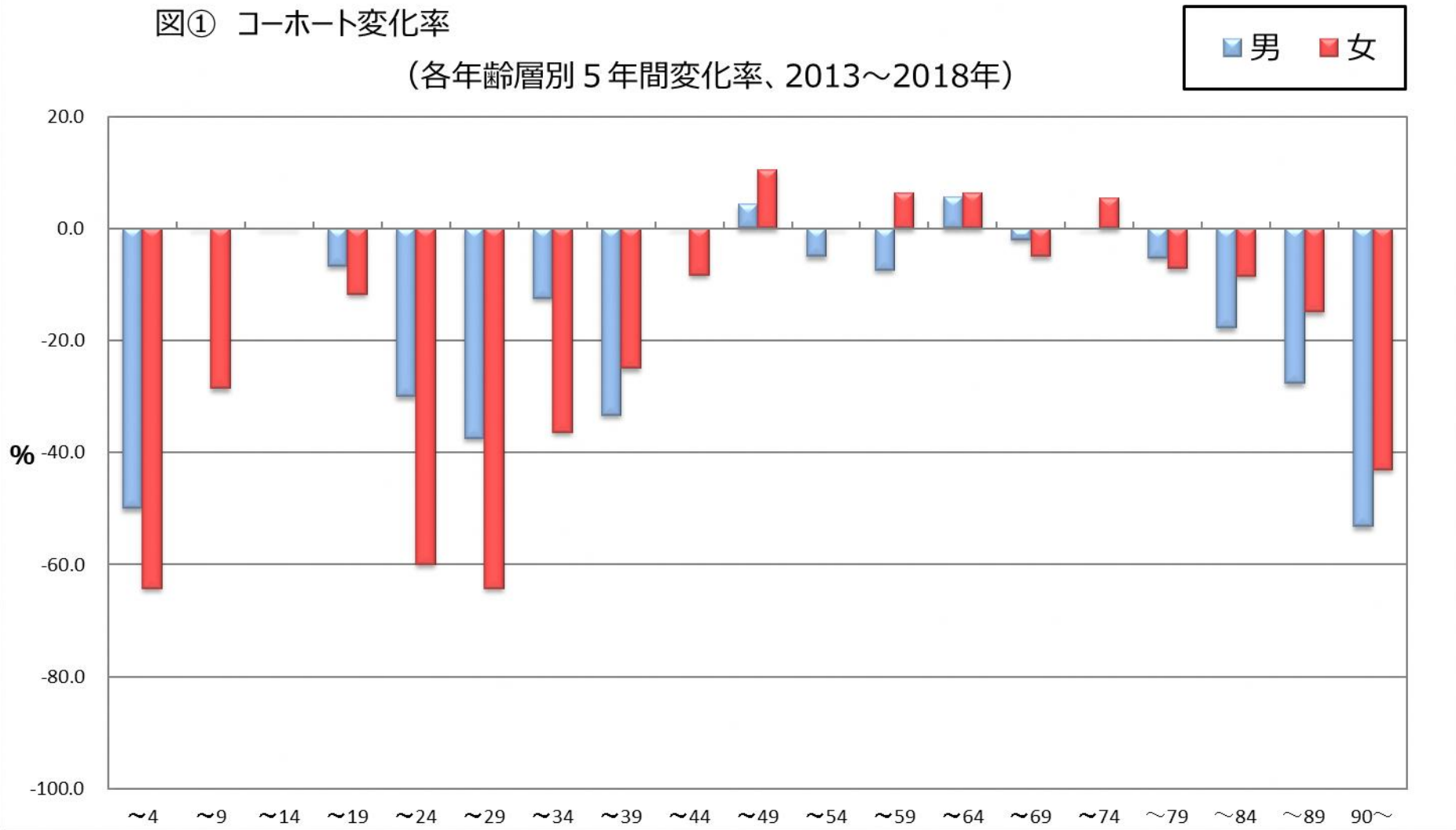
増加地区は

- ① 青河 50.0%
- ② 三良坂 20.3%
- ③ 川西 19.0%
- ④ 酒屋 18.8%
- ⑤ 河内 16.7%
- ⑤ 田幸 16.7%
- ⑦ 河内 12.2%
- ⑧ 三和 11.9%
- ⑨ 神杉 7.7%
- ⑩ 作木 6.9%

河内地区の年齢階層別人口増減率(2013~18年)

図① コーホート変化率

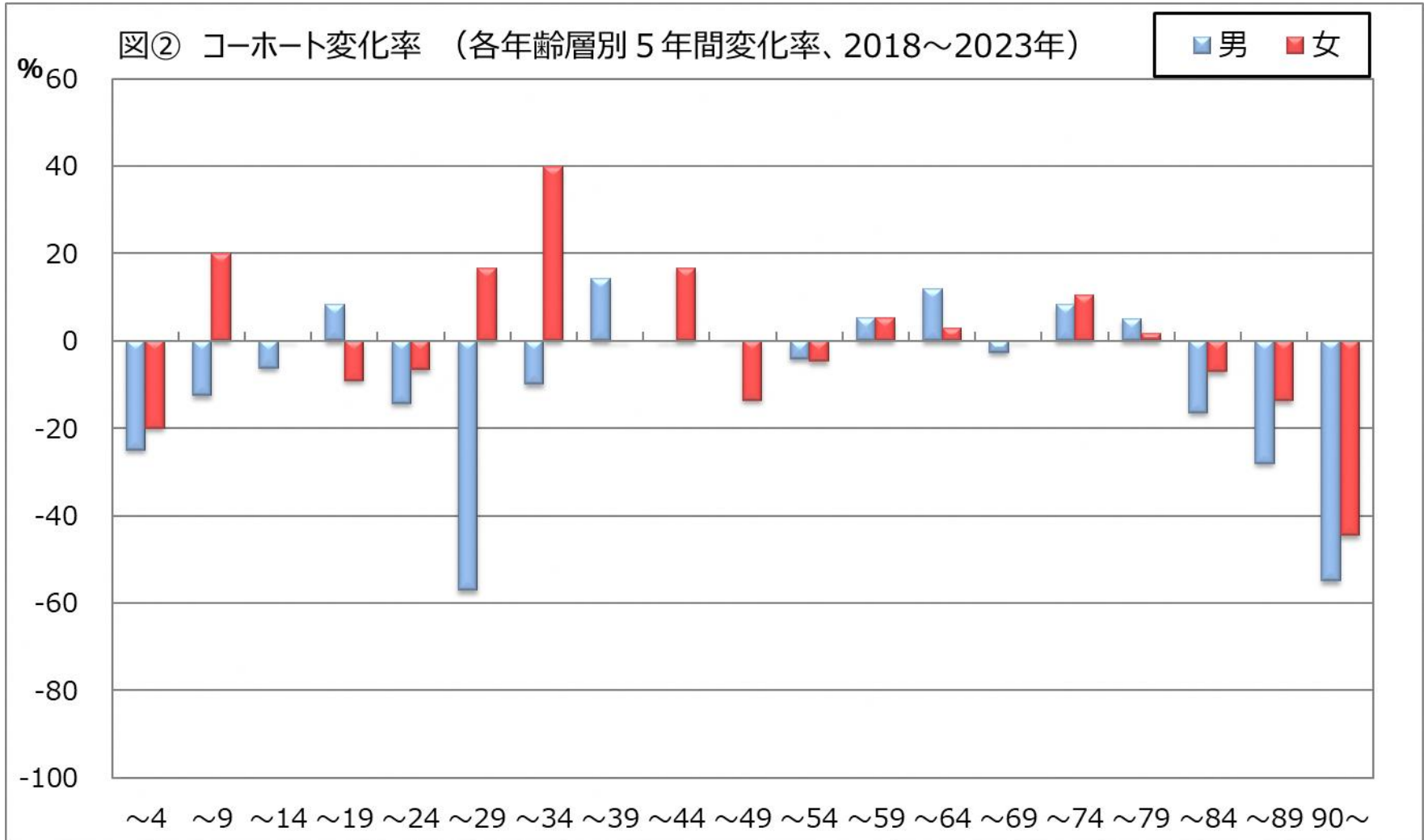
(各年齢層別 5年間変化率、2013~2018年)



20代および子連れ世帯の流出超過が大きかった

河内地区の年齢階層別人口増減率(2018~23年)

人口835人



アラサー女性と子連れ世帯の流入超過を実現

三次市河内地区の地区ぐるみ定住実現の取り組み

集落支援員からひとこと

私も25年前に大阪から1ターンしてきました。川や山、田や畑が身近にあり、自然の生業を肌で感じられる環境です。雑踏から少し離れただけで、心豊かに過ごせる河内地区は私の心のオアシスです。



令和2年度着任
週2日勤務
介護士

喜多嶋さん

■活動内容

1. 空き家活用に関する取組
2. 集落支援員だよりの作成
3. Facebook・Instagramの記事作成
4. 他地区集落支援員との協力連携 等

■空き家見学ツアーの開催

毎年、「オープンスクール」と題して、空き家見学ツアーを実施。

家族みんなが笑顔
新しいまじゅ

広島県三次市立 河内小学校 Vol.3 オープンスクール

2023年9月24日(日)
11:00~15:00
(10:30受付開始)

河内のいいところがまるわかり!
全ての児童が"kira"つと輝く。河内小の複式授業は必見!
空き家紹介します!

先着10家族程度です

2023年のオープンスクールは、三次市や河内小学校区への通学や移住を検討されているご家庭向けです。河内の魅力をたっぷり味わっていただきます!当日は河内の情報もたくさん準備しています。迷っている方、ご不明な点をお気軽にお問い合わせください!

参加費は無料です
昼食をご注文の方は
お弁当750円がかかります。

参加申込
フォームOR
申込み締切は
8/31(木)

〒728-0007
広島県三次市小文町173-1
三次市立河内小学校

河内まちづくり
連絡会インスタ

山Kiraふびと
こうちいんスタ

河内小学校
パンフレット

河内小学校
ホームページ

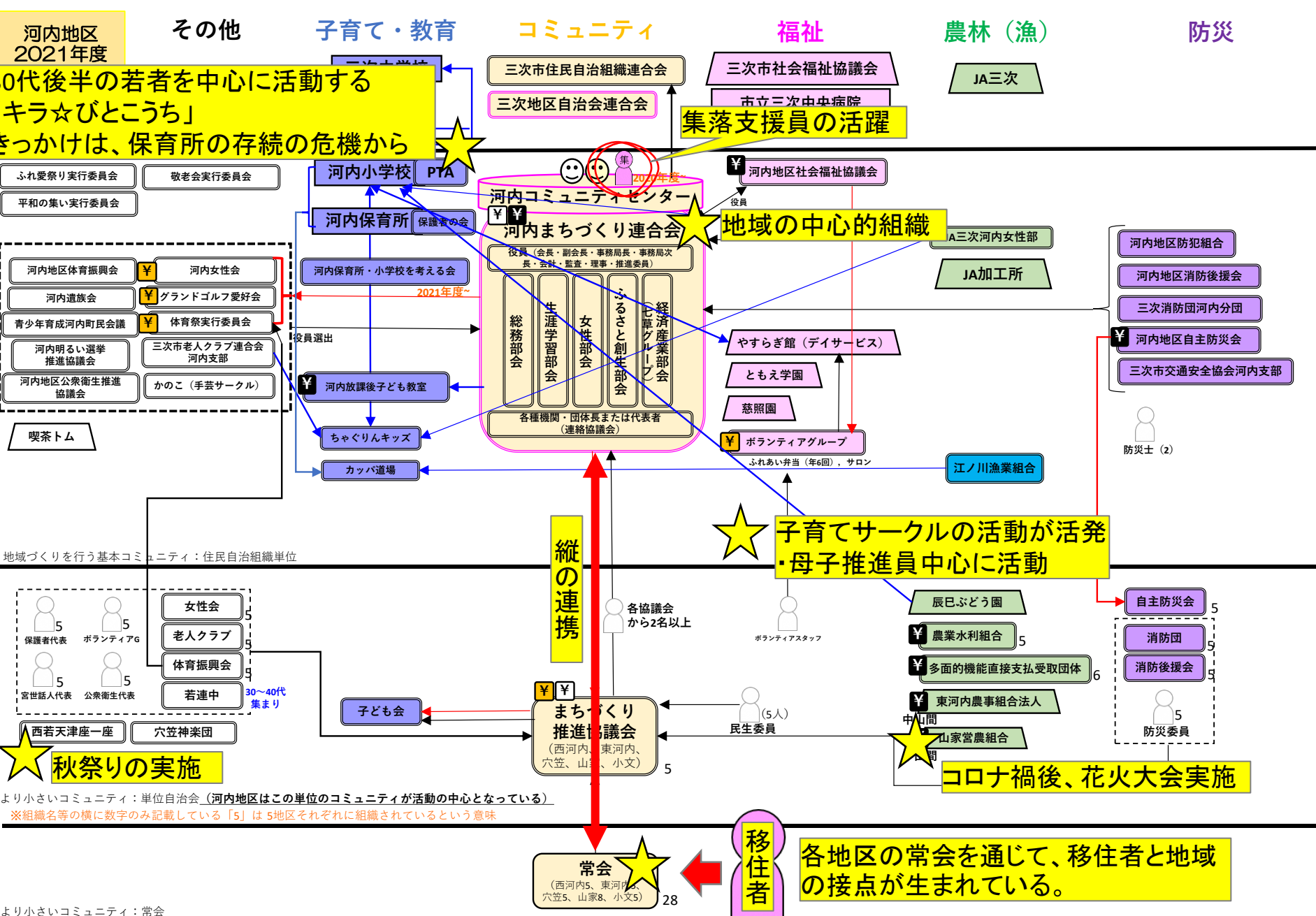
ひろしまけんみやしりつこうちしょうがっこう
広島県三次市立河内小学校
オープンスクールタイムスケジュール

来てみて!見てみて!
通いたくなる河内小学校!

10:30	受付開始
10:50	受付終了
11:00	公開授業開始
11:45	授業終了
12:00	バスで山家町の 昼食会場へ移動
12:15	昼食
12:50	山家町温泉団地へ 空き家見学
13:50	見学終了バス移動
14:00	山家コミュニティで お茶タイム・意見交換 児童の出し物
14:50	小学校へバス移動
15:00	小学校到着 解散

集落支援員は空き家物件の紹介と地区の紹介を行う。

地域ぐるみでの定住実現～「地元関係図」で考える



河内地区
2021年度

その他 子育て・教育 コミュニティ 福祉 農林(漁) 防災

30代後半の若者を中心に活動する
「キラ☆びとこうち」
きっかけは、保育所の存続の危機から

集落支援員の活躍

地域の中心的組織

子育てサークルの活動が活発
母子推進員中心に活動

- その他**
- ふれ愛祭り実行委員会
 - 敬老会実行委員会
 - 平和の集い実行委員会
 - 河内地区体育振興会
 - 河内遺族会
 - 青少年育成河内町民会議
 - 河内明るい選挙推進協議会
 - 河内地区公衆衛生推進協議会
 - 喫茶トム
 - 河内女性会
 - ¥ グランドゴルフ愛好会
 - ¥ 体育祭実行委員会
 - 三次市老人クラブ連合会 河内支部
 - かのこ(手芸サークル)

- 子育て・教育**
- 河内小学校 PTA
 - 河内保育所 保護者の会
 - 河内保育所・小学校を考える会
 - 河内放課後子ども教室
 - ちやくりんキッズ
 - カップ道場

河内コミュニティセンター
 河内まちづくり連合会

役員(会長・副会長・事務局長・事務局長次長・会計・監査・理事・推進委員)

- 総務部会
- 生涯学習部会
- 女性部会
- ふるさと創生部会
- 経済産業部会

各種機関・団体長または代表者(連絡協議会)

- 福祉**
- 三次市住民自治組織連合会
 - 三次地区自治会連合会
 - 三次市社会福祉協議会
 - 市立三次中央病院
 - 河内地区社会福祉協議会
 - やすらぎ館(デイサービス)
 - ともえ学園
 - 慈照園
 - ボランティアグループ
ふれあい弁当(年6回)、サロン

- 農林(漁)**
- JA三次
 - JA三次河内女性部
 - JA加工所
 - 江ノ川漁業組合

- 防災**
- 河内地区防犯組合
 - 河内地区消防後援会
 - 三次消防団河内分団
 - 河内地区自主防災会
 - 三次市交通安全協会河内支部
 - 防災士(2)

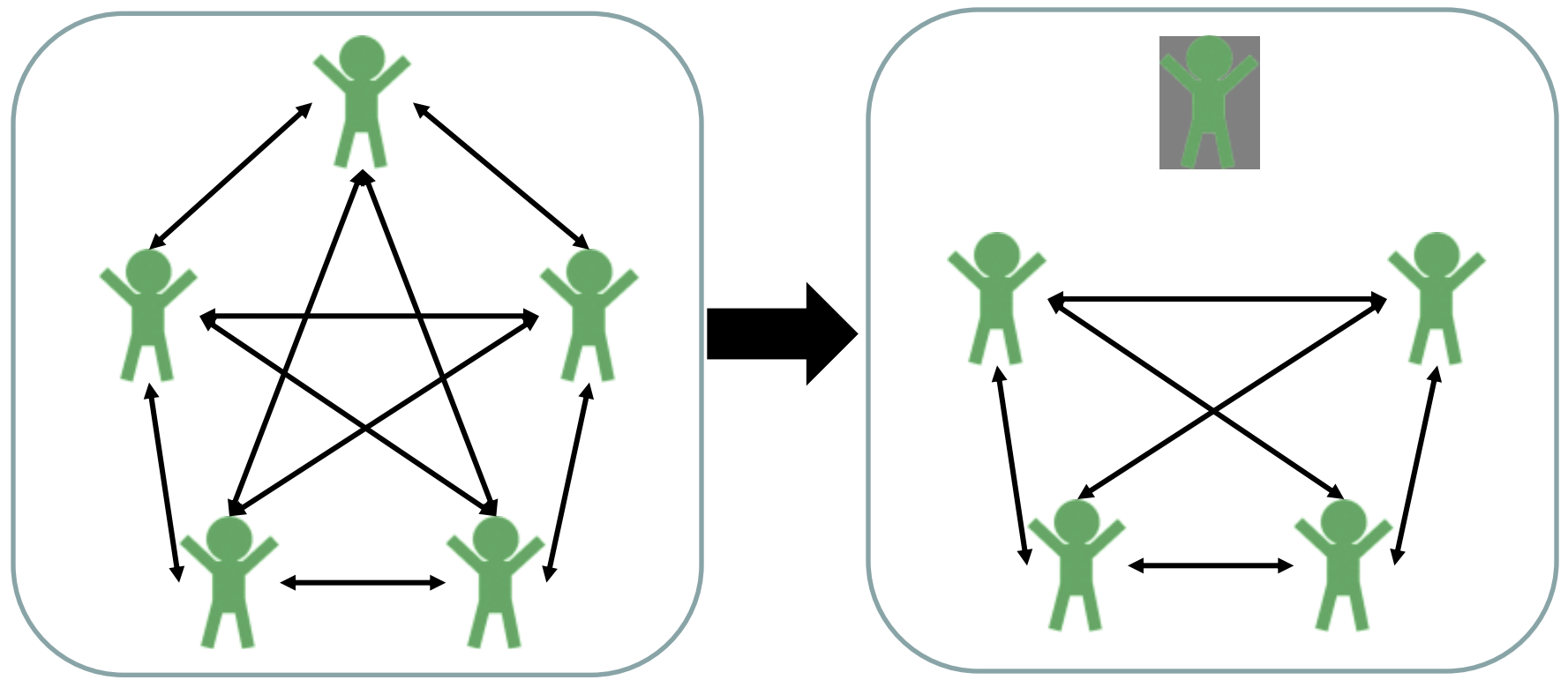
- 秋祭りの実施**
- 西若天津座一座
 - 穴笠神楽団
 - 女性会
 - 老人クラブ
 - 体育振興会
 - 若連中
 - 保護者代表 5
 - ボランティア 6
 - 宮世話人代表 5
 - 公衆衛生代表 5
 - 30~40代 集まり

- コロナ禍後、花火大会実施**
- 自主防災会 5
 - 消防団 5
 - 消防後援会 5
 - 防火委員 5
 - 辰巳ぶどう園
 - 農業水利組合 5
 - 多面的機能直接支払受取団体 6
 - 東河内農事組合法人
 - 山家営農組合

より小さいコミュニティ：単自治会 (河内地区はこの単位のコミュニティが活動の中心となっている)
 ※組織名等の横に数字のみ記載している「5」は5地区それぞれに組織されているという意味

3. 人口減少の恐ろしさ~つながりと拠点、交通が激減

●人口が 5人 から 4人 に減少すると、



●ネット
ワークは、 10通り から 6通り と 4割減少

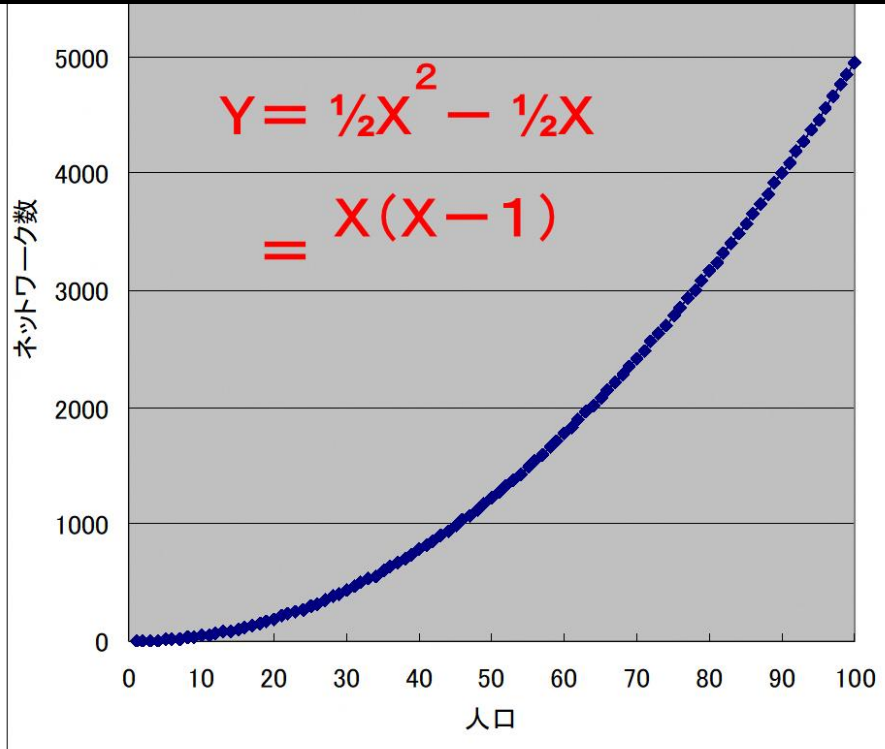
地域住民を取り巻くネットワークは、閉鎖的な地域単位では、
人口減少度以上に、急速に減少する！

●100人が50人へ半減すると、人間関係は4分の1となる！

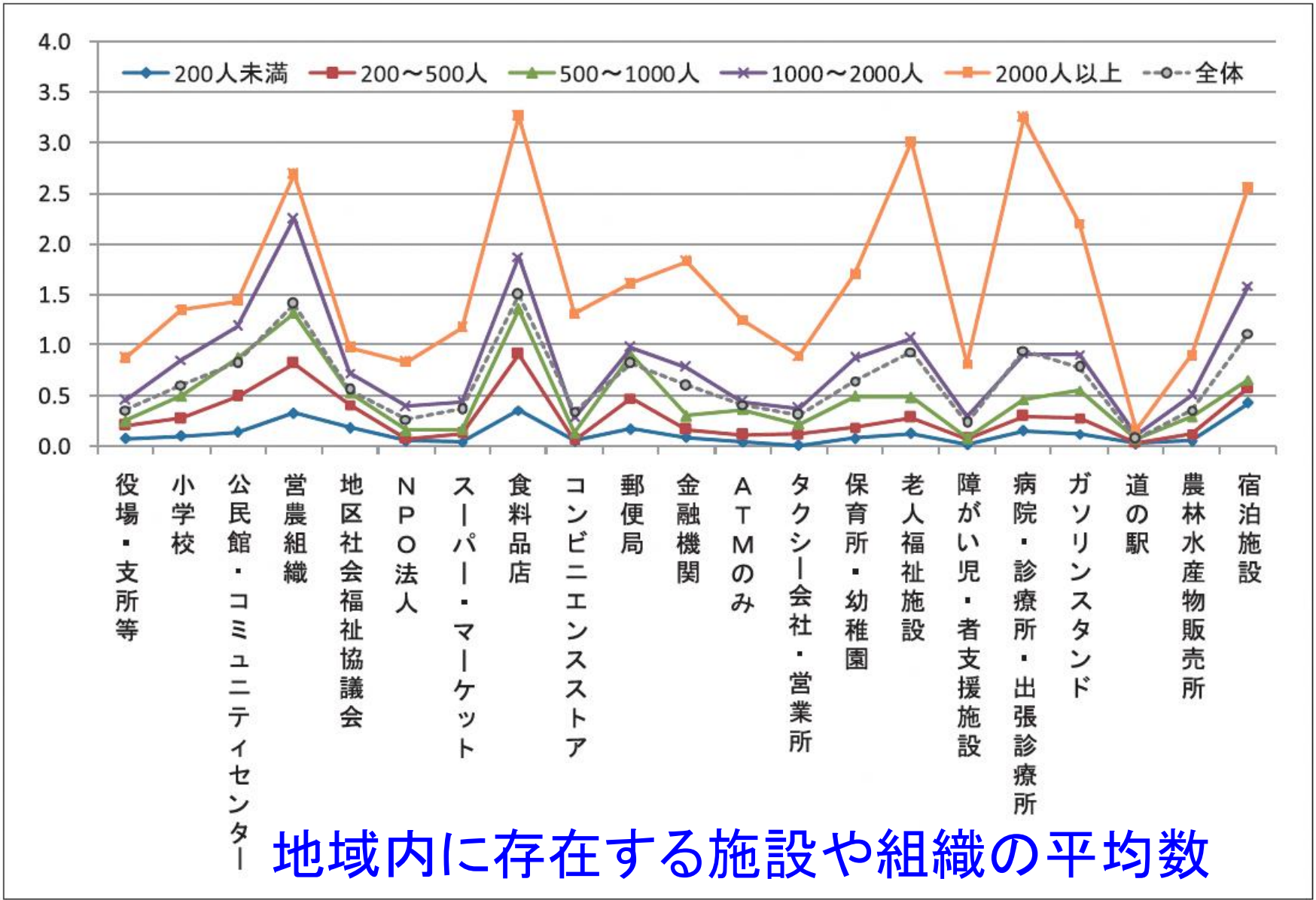
人口	ネット数	100人時比較減少率
100人	4,950通り	0%
90人	4,005通り	-19.1%
80人	3,160通り	-36.2%
70人	2,415通り	-51.2%
60人	1,770通り	-64.2%
50人	1,225通り	-75.3%
40人	780通り	-84.2%
30人	435通り	-91.2%
20人	190通り	-96.1%
10人	45通り	-99.1%

●地域内のネットワークの数は、人口の2次関数として変化

地域人口(X)とネットワーク数(Y)の関係

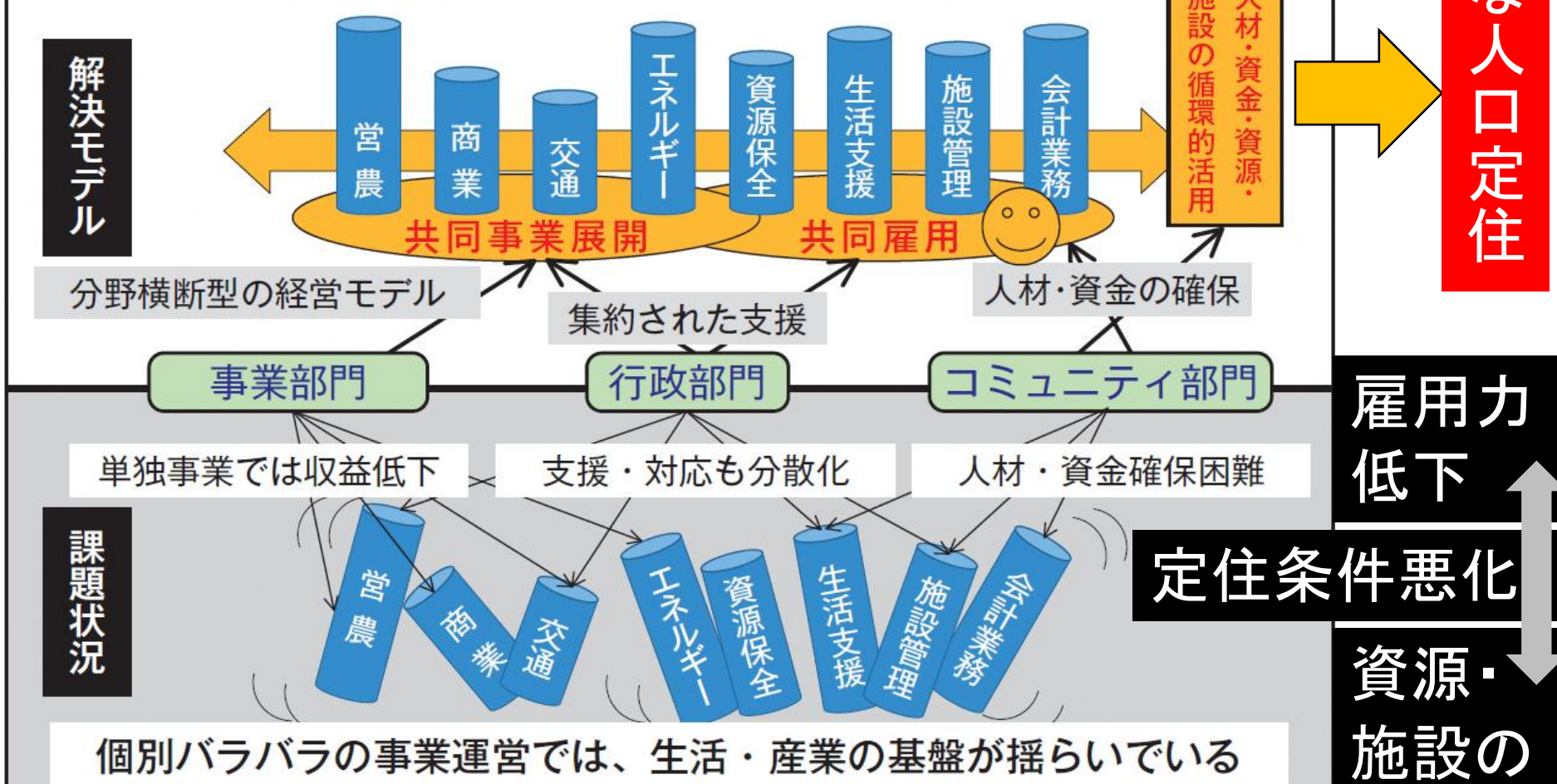


●人口2000人を下回ると、拠点が単独での存立が困難に



地元ごとに分野・集落を横断してつなぐ仕組みを

「広場 & 組織」による地域ぐるみの連携体制



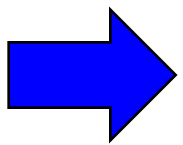
新たな人口定住

雇用力低下

定住条件悪化

資源・施設の活用力低下

地域ぐるみの「合わせ技」



新たな持続性創出










































個別バラバラの事業運営では、生活・産業の基盤が揺らいでいる

バラバラはダメ！



分野軸にみる交通の縦割り

事業ごとに区切られた経営状態
→車両の共有といった複合化は旅客
内・貨物内でも行われていない

人口3,000人規模の一次生活圏、2010年

旅・貨	事業名等	運営主体	運行主体	車両数・車両規模	運転人員(配達人員)
旅	市営バス	支所自治振興課	(有)	1台  29	1人 
旅	スクールバス	教育委員会 分室	(有)	1台  60	1人 
貨	学校給食配送			(有) 運送	1台 
旅	デマンド号	定住対策課	(有) タクシー	1台  10	1人 
旅	移送サービス	支所市民福祉課	市社会福祉協議会	1台  4	1人 
旅	路線バス線	(株) 交通		3台 ~  50  50  50 ~	3人 ~  × 3 ~
旅	患者送迎タクシー	S医院		1台  10	1人 
旅	通所デイ送迎	(福) 福祉会		5台  9 × 2  8  5  3	5人 ~  × 5 ~
旅	通所リハ送迎	(福) 福祉会		8台  11  10 × 2  5  4 × 4	8人 ~  × 8 ~
貨	郵便配達/集荷	日本郵便		5台  × 5 ( × 4 + )	5人  × 5
貨	宅配便	運輸(株)		1台 	1人 
貨	市場集荷便	JA		1台 	1人 
貨	新聞配達	M新聞販売店ほか		計7台  × 7	(15人)  × 15 (徒歩有)
貨	移動販売	O商店		1台 	1人 
貨	生協	生活協同組合		1台 	1人 
貨	卸売共同配送	(有)		1台 	1人 

車内の数字は乗
車定員を示す

 専任型運転手
 兼任型運転手

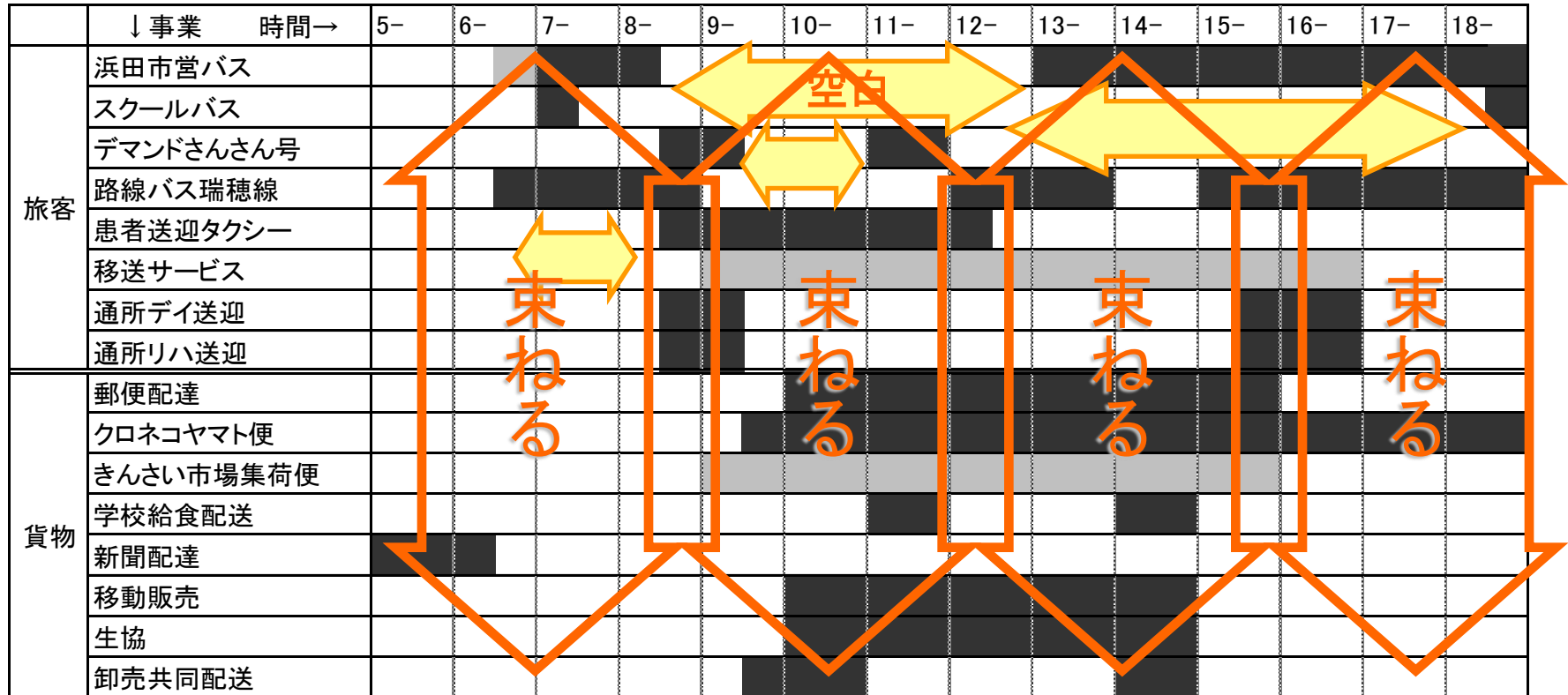
※専任型運転手は当該運転及びそれに伴う業務を専ら行う者、兼任型運転手は他業務との兼任などにより当該運転のみを主たる業務としない者を指す。

< * 以下3枚～島根県立大学連携大学院生・上野氏(H23修了)との共同研究 >

分野横断で解決策が見えてくる！

時間軸にみる交通の縦割り

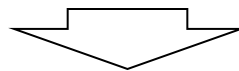
表2 旭自治区における交通の車両運行時間



注) 浜田市営バスの6時台の便は、隣接する邑南町の町営バスが乗り入れる便を表示。

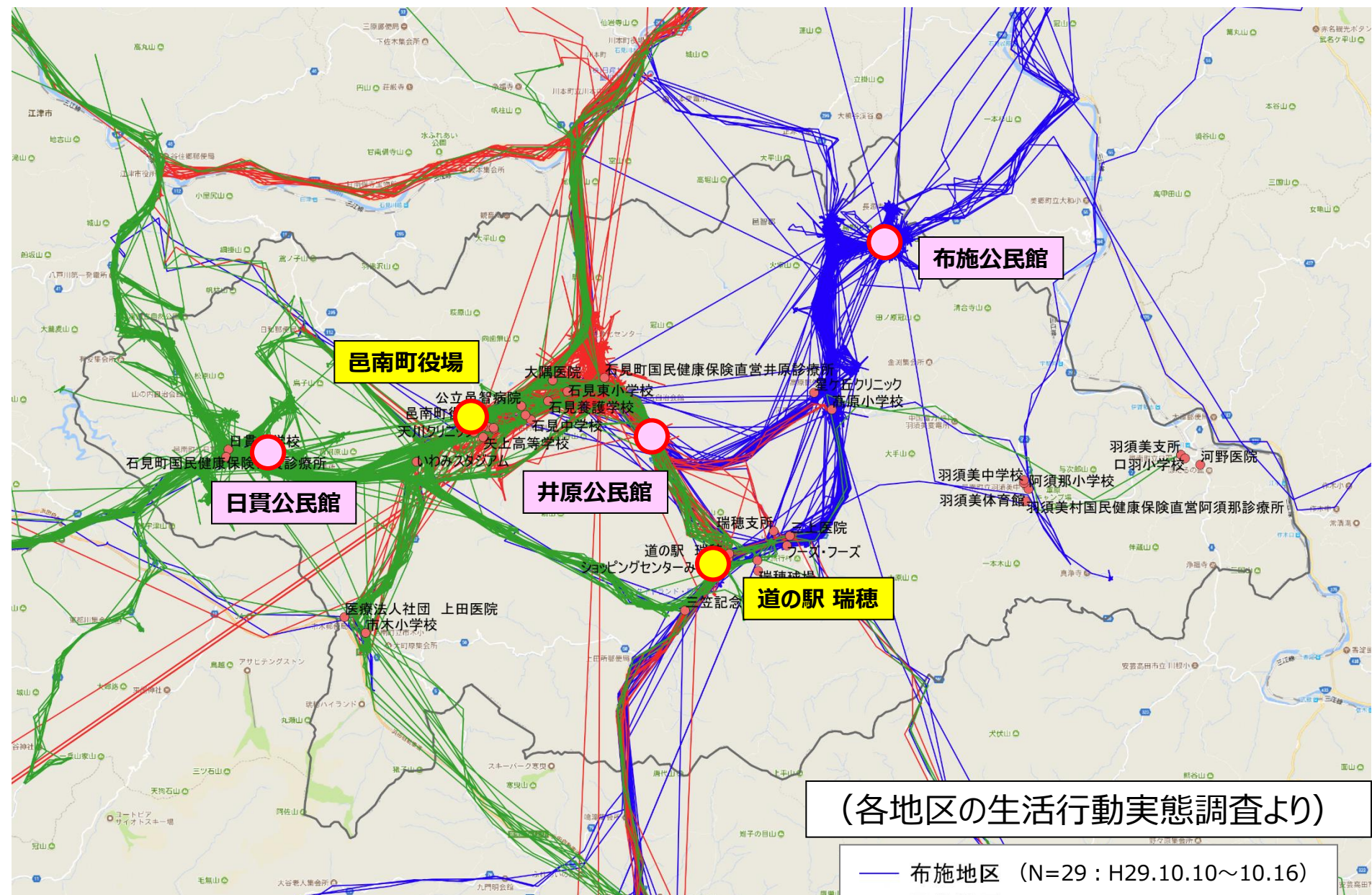
移送サービス及びきんさい市場集荷便は、利用状況等により時間帯が大幅に異なるため概算の時間帯を表示。

従来、個々のサービス内で需要を束ねていた。《負のスパイラル＝時間の空白》



サービスの垣根を越えた『縦方向』に需要を束ねる＝複合化、時間的空白の解消

島根県邑南町「人の動き」分析例（協力：国土交通省、(株)バイタルリード）



移動フローの97%が自家用車単独利用

「郷」(さと)

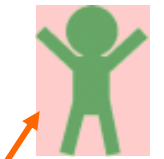
地域内：
分野・集落を
横断したネット
ワークの
再生・進化

地域外：
都市とのパート
ナー機能に
向けた「関係
人口」の強化

新たな
結節機能
(広場&組織)

ローカル
commons
再構築

都市



都市住民



出身者



企業



学生



集落A

土地

集落B

土地

集落C

土地

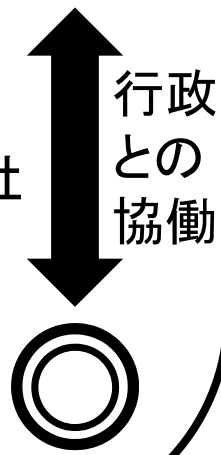
集落D

土地



U・ターン者

地域経営会社
との連携
マネージャー
配置



4. みんながつながる「広場」を創ろう！



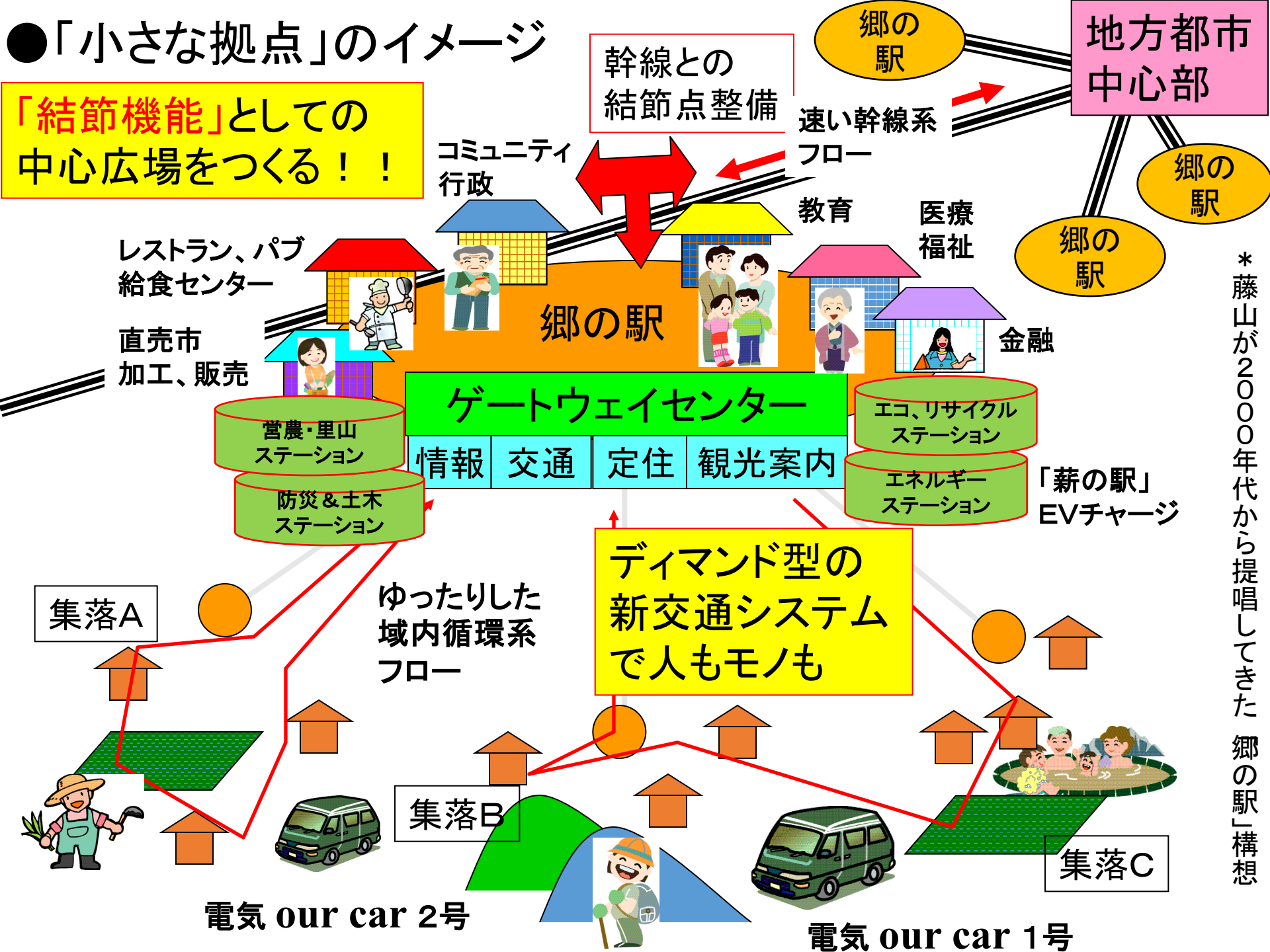
イタリア、小さな村にも必ず中心広場があり、人々が集う

分散的居住に分散的な拠点配置では？



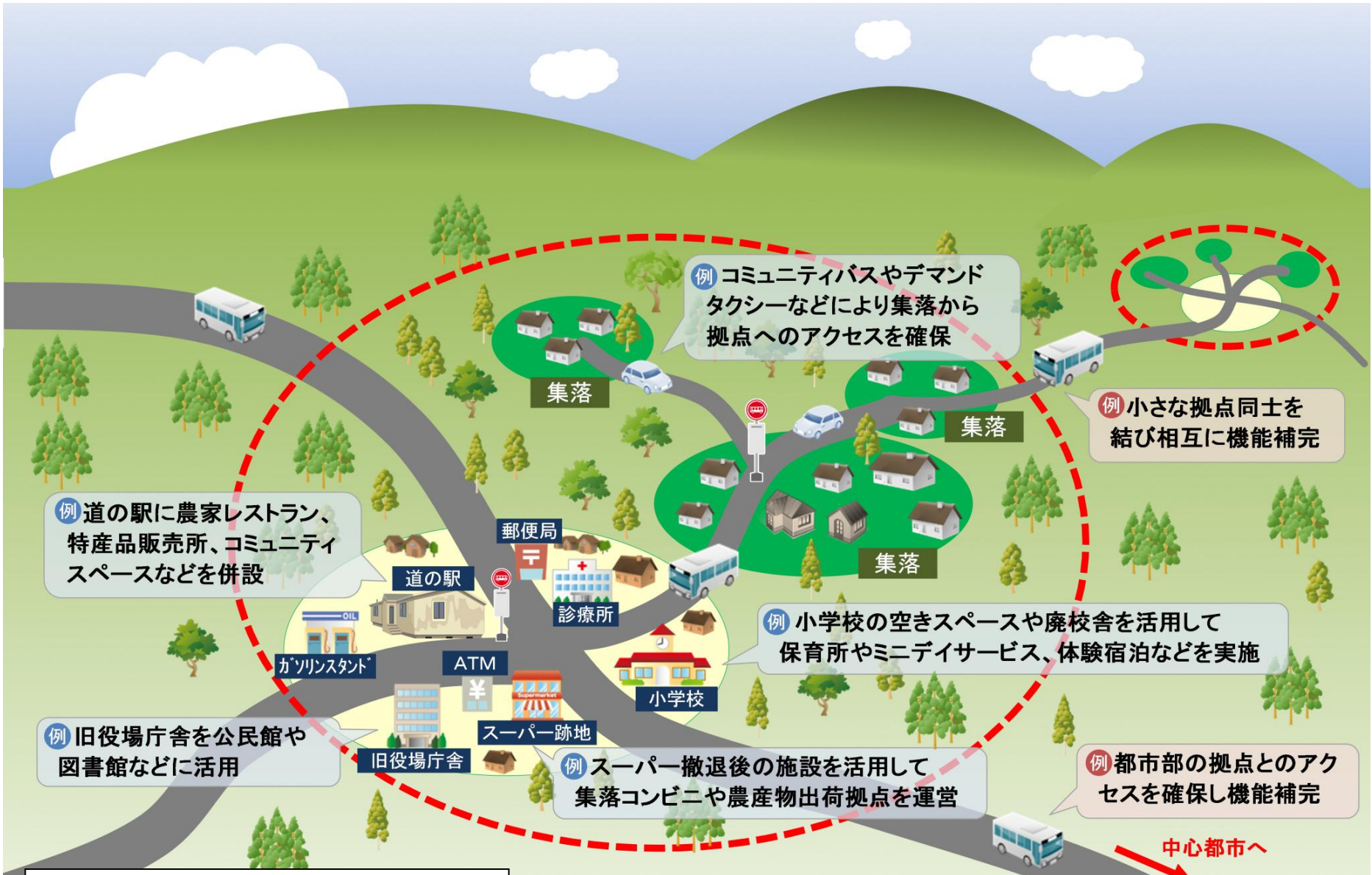
●「小さな拠点」のイメージ

「結節機能」としての
中心広場をつくる！！



*藤山が2000年代から提唱してきた「郷の駅」構想

国土のグランドデザインと地方創生総合戦略にも、集落地域を支える新たな複合機能拠点として「小さな拠点」が登場



※実践編「小さな拠点」づくりガイドブックより

「小さな拠点」を動かす社会技術～「合わせ技」＝複合化

広島県三次市の川西地区(1,178人、480世帯)

平成25年「郷の駅づくり推進委員会」による「小さな拠点」構想イメージ

待ち時間が活き時間になる！

川西ならではの
合わせわざで出来る
郷の駅
(イメージ図)

農村まるごとミュージアム
「いつわの里広場」構想

- 防災センター
- +
- 道の駅
- +
- 郷の駅



地域社会に宿る
つながりの力を活かす

新聞を配って回る時
高齢者の安否確認も
するよ。配達があれば
気軽に言ってネ!

販売も
取次もするよ

合わせわざの達人

出来ることは
何んでもやるよ!
知ってることは
何んでも教えるよ!
オッホン

川西郷の駅づくり推進委員会

2017年7月21日

三次市川西地区に「川西郷の駅 いつわの里」オープン



「株式会社 川西郷の駅」を8割の世帯が出資し、設立→運営主体

輪島市自動運転実験



4人乗りゴルフカートを改造



道路に
誘導線
埋め込み

フィンランドで歩道を走る
自動運搬車（提供・豊田知世・
島根県立大学准教授）



自動宅配カー

東近江市「福祉モール」



エネルギー
～薪

食～農家レストラン



福祉～デイサービス等

食～パン屋さん





開催されました！
鹿野ふらっと食堂が

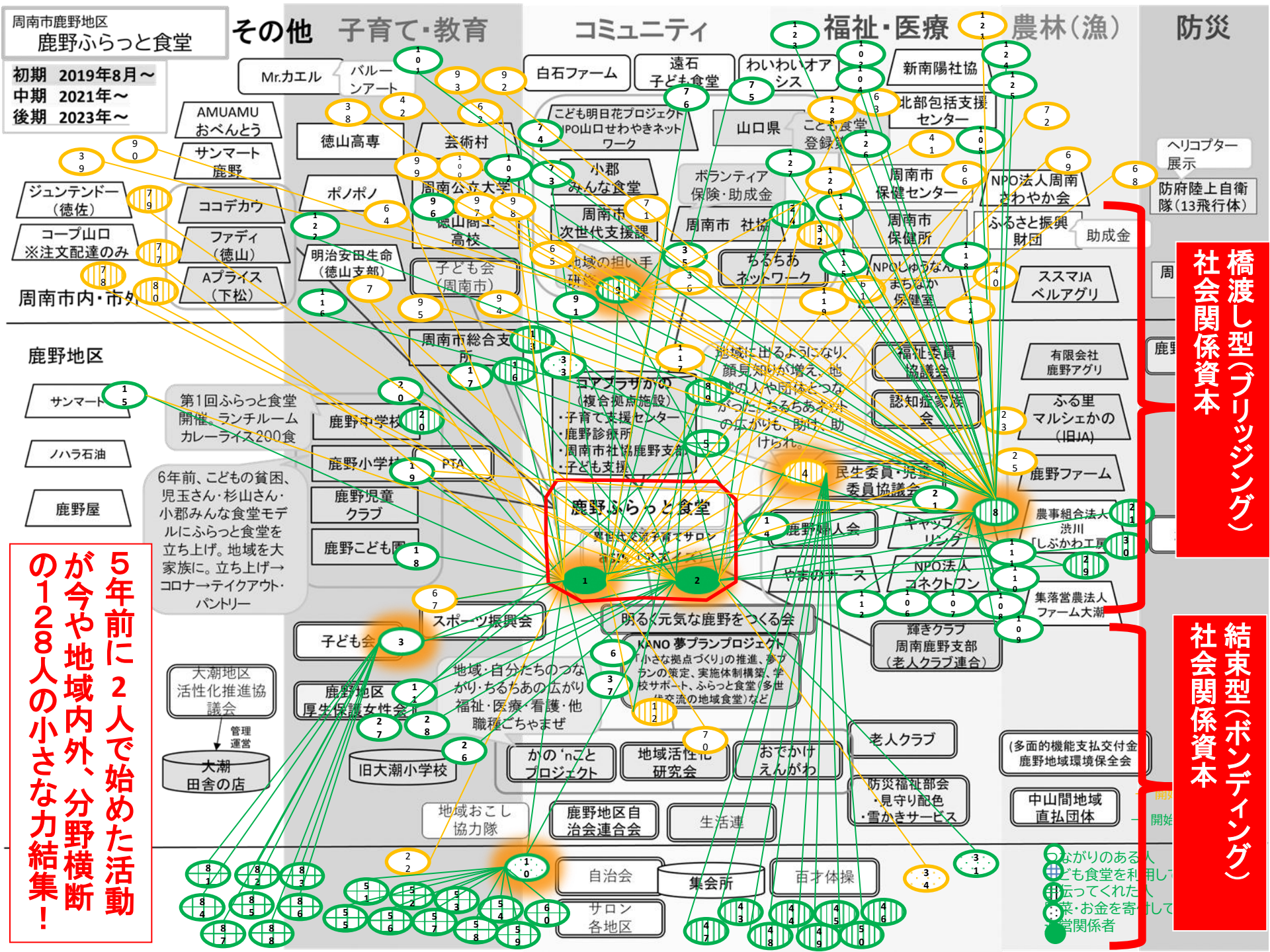
こども食堂のつながり効果を見える化する！



山口県周南市鹿野地区



鹿野ふらっと食堂が開催されました！！
公益財団法人周南市ふるさと振興財団
(furusatoshunan.com)



周南市鹿野地区
鹿野ふらっと食堂

初期 2019年8月～
中期 2021年～
後期 2023年～

その他 子育て・教育

コミュニティ

福祉・医療

農林(漁)

防災

AMUAMU おべんとう
サンマート 鹿野
ジュンテンドー (徳佐)
コープ山口 ※注文配達のみ
周南市内・市外

Mr.カエル
バルーンアート
徳山高専
ポノポノ
周南公立大学
徳山商工高校
明治安田生命 (徳山支部)
子ども会 (周南市)

白石ファーム
遠石 子ども食堂
わいわいオアシス
こども明日花プロジェクト
山口県 こども食堂登録
ボランティア 保険・助成金
周南市 社協
周南市 次世代支援課
地域の担い手 研

新南陽社協
北部包括支援センター
周南市 保健センター
周南市 保健所
NPOしゅうなん まちなか保健室
周南市 保健センター
NPO法人周南 さわやか会
ふるさと振興財団 助成金

ヘリコプター 展示
防府陸上自衛隊 (13飛行体)

鹿野地区
サンマート
ノハラ石油
鹿野屋

第1回ふらっと食堂 開催 ランチルーム カレーライス200食
鹿野中学校
鹿野小学校 PTA
鹿野児童クラブ
鹿野こども園

周南市総合支所
コアラサカガの (複合拠点施設)
子育て支援センター
鹿野診療所
周南市社協鹿野支部
子ども支援

民生委員・児童委員協議会
鹿野婦人会
やまのす

福祉委員協議会
認知症家族会
有限会社 鹿野アグリ
ふる里 マルシェかの (旧JA)
鹿野ファーム
農事組合法人 洪川
「しぶかわ工房」
集落営農法人 ファーム大潮

5年前に2人で始めた活動が今や地域内外、分野横断の128人の小さな力結集!

6年前、こどもの貧困、児玉さん・杉山さん・小郡みんな食堂モデルにふらっと食堂を立ち上げ。地域を大家族に。立ち上げ→コロナ→テイクアウト・パントリー

大潮地区 活性化推進協議会
管理運営 大潮 田舎の店

旧大潮小学校
地域おこし協力隊
鹿野地区 厚生保護女性会
子ども会
スポーツ振興会

鹿野ふらっと食堂
多世代交流サロン
おがき交流スペース

明るく元気な鹿野をつくる会
KANO 夢プランプロジェクト
小さな拠点づくりの推進、夢プランの策定、実施体制構築、学校サポート、ふらっと食堂(多世代交流の地域食堂)など

の'nことプロジェクト
地域活性化研究会
おでかけえんがわ
老人クラブ
防災福祉部会
見守り配色・雪かきサービス

自治会
集会所
百才体操
サロン 各地区

民生委員・児童委員協議会
鹿野婦人会
やまのす
NPO法人 コネクトフン
輝きクラブ 周南鹿野支部 (老人クラブ連合)

福祉委員協議会
認知症家族会
有限会社 鹿野アグリ
ふる里 マルシェかの (旧JA)
鹿野ファーム
農事組合法人 洪川
「しぶかわ工房」
集落営農法人 ファーム大潮

民生委員・児童委員協議会
鹿野婦人会
やまのす
NPO法人 コネクトフン
輝きクラブ 周南鹿野支部 (老人クラブ連合)

福祉委員協議会
認知症家族会
有限会社 鹿野アグリ
ふる里 マルシェかの (旧JA)
鹿野ファーム
農事組合法人 洪川
「しぶかわ工房」
集落営農法人 ファーム大潮

(多面的機能支払交付金 鹿野地域環境保全会)
中山間地域 直担団体

橋渡し型(ブリッジング)
社会関係資本

結束型(ボンディング)
社会関係資本

つながりのある子ども食堂を利用し、伝えてくれた人へ、お金を寄せて、関係者

益田市真砂地区 (人口300人、56.7%、2024年) の「地域活性化交流館」2023年完成 小学校×保育所×公民館×診療所の複合施設 合言葉は「ゼロ歳から100歳まで」



地域ぐるみみの連結決算へ

●高齢者(70~80代)の営農価値を計算し直す

今までの「縦割り」評価

農業部門のみ = 野菜の売上げ
月2万円 × 12か月 = 24万円
<手取り所得 15万円>



これからの「合わせ技」評価

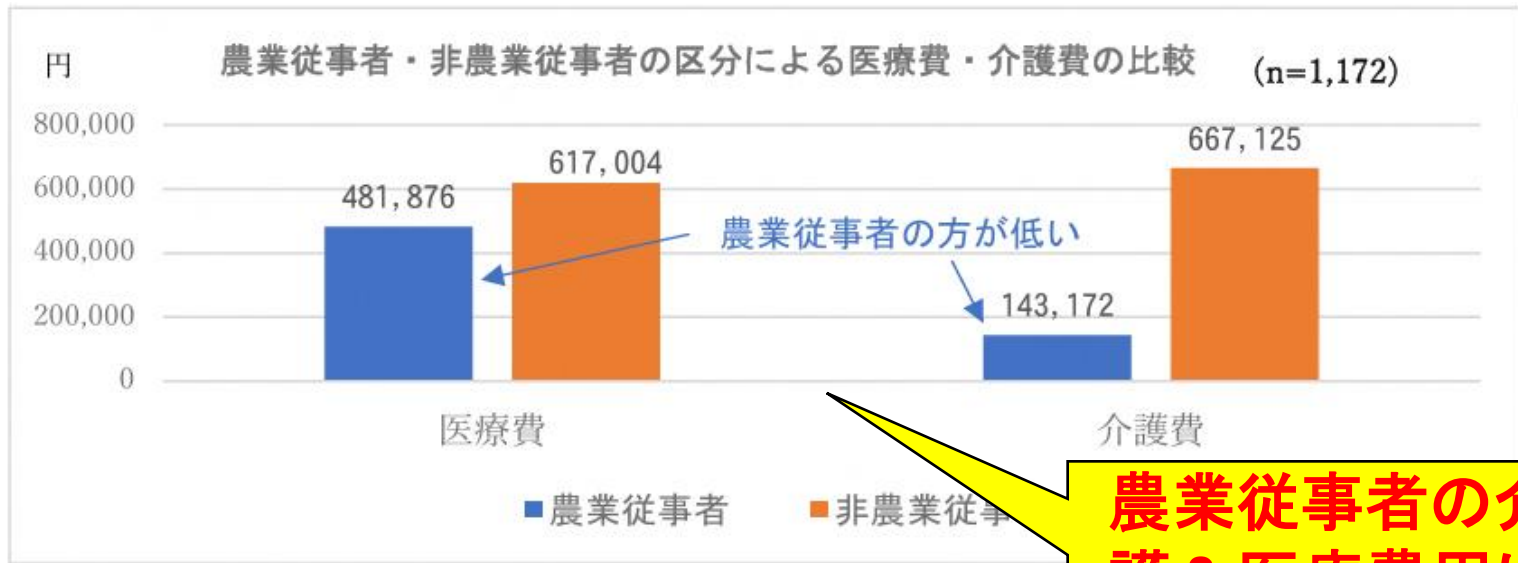
元気に日々農業するので、
介護費用 148万円
(80代前半女性認定者平均、全国)
医療費 89万円
(80代前半男女平均、全国)
を浮かせている！！

合計数百万円の費用削減

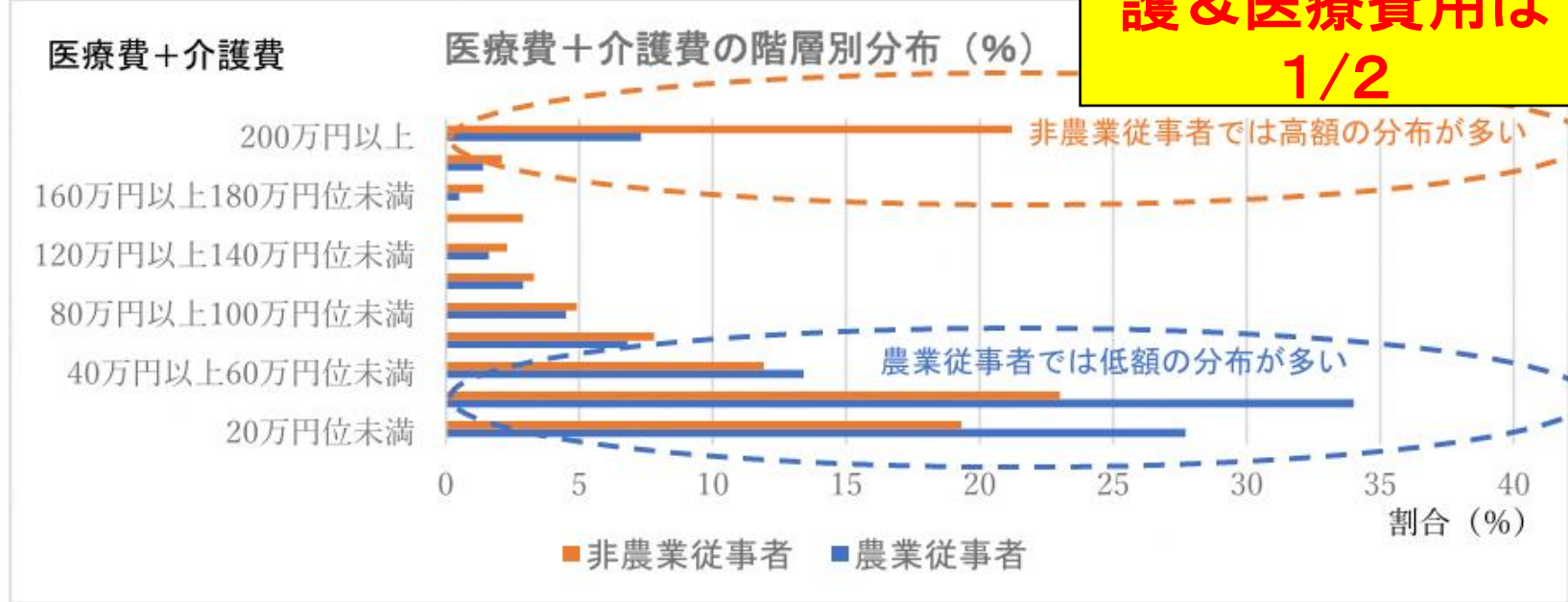


2014/11/1
山陰中央新報ほか

農業が医療、介護、福祉に及ぼす効果について ~令和3年度 農業の後期高齢者医療費等抑制効果分析業務(農林水産省)~ 藤山は検討委員として参画

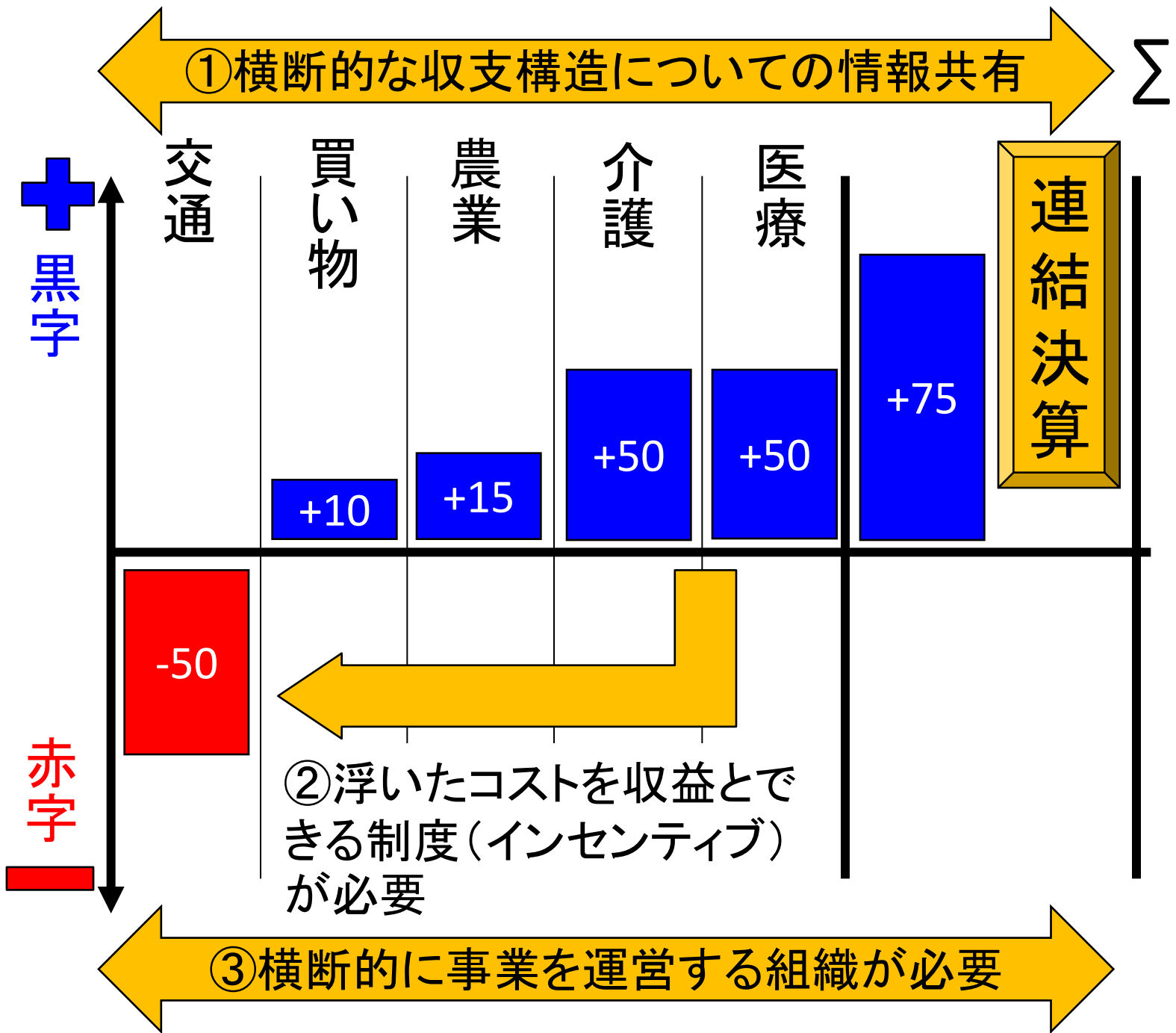


農業従事者の介護&医療費用は1/2



茨城県城里町在住の後期高齢者(75歳以上)を対象・アンケートにより農業従事者の有無を判別・城里町の医療費や介護費の令和2年度データと令和3年度アンケート結果を生年月日、住所、性別にて突合し、農業従事者と非農業従事者の医療費・介護費についての比較・分析を実施

地域全体をつなぎ、
得」を大きくする



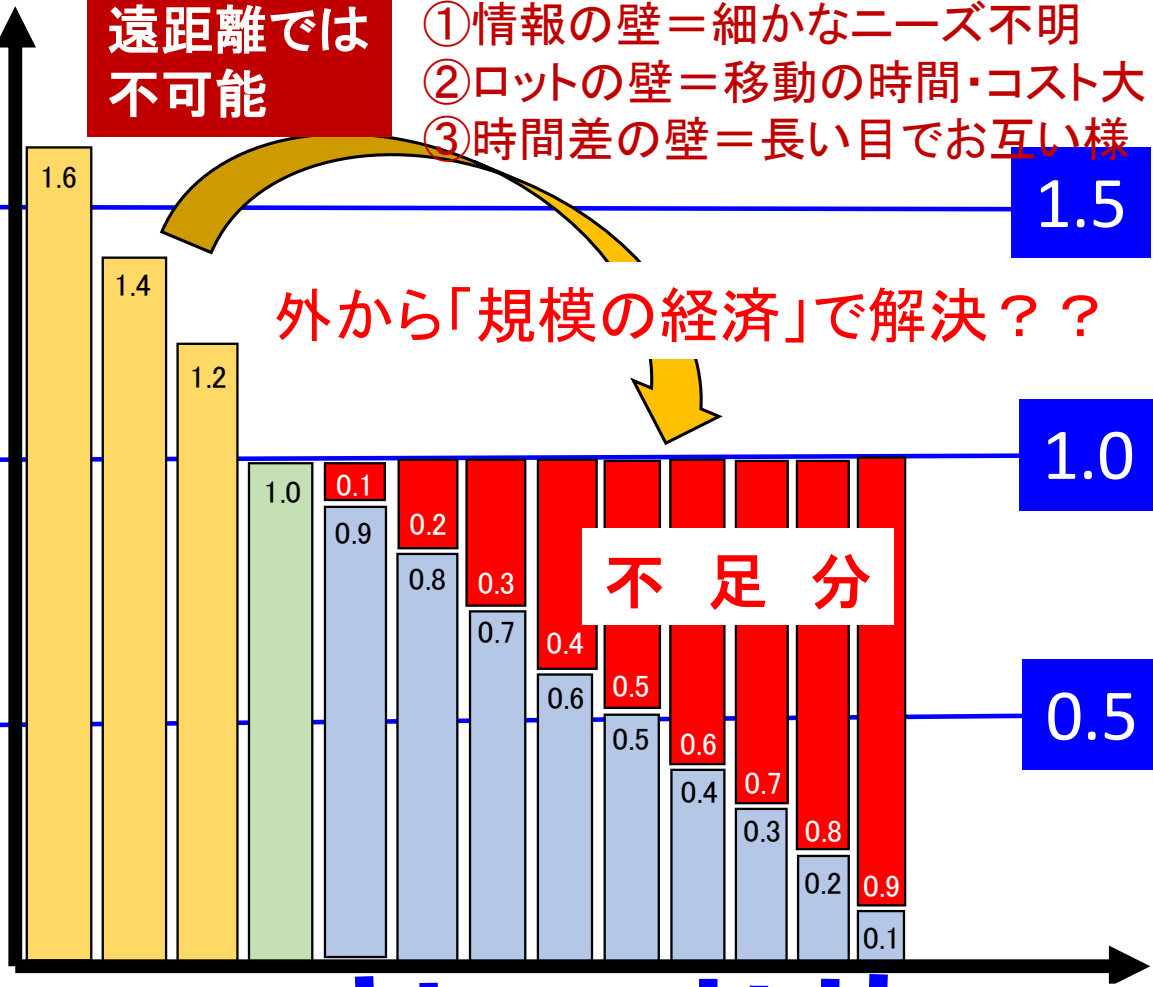
★小さな力をつむぐ「コンマXの社会技術」の開発、導入を！

遠距離では
不可能

- ①情報の壁＝細かなニーズ不明
- ②ロットの壁＝移動の時間・コスト大
- ③時間差の壁＝長い目でお互い様

地域社会や個人に宿る広い裾野の「小さな底力」をつなぎ、活かす！

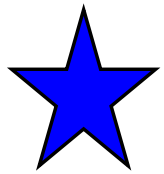
●生産・活動レベル



小規模・分散的な生業の復活

半農半X的な複合的な就業形態

身近な暮らし・介護の助け合い



身近な地域内でつなぎ直し

合わせて1.0

●年齢など

新たな地元での所得創造

5. みんながつながる「会社」を創ろう！

一般社団法人 ドリームレッド



一般社団法人ドリームレッドは
赤郷地域の夢を実現する会社です

*2025年2月1日
ローカルモビリティ
ティサミット資料
より

赤郷の現況(令和6年12月現在)

美祢市美東町 赤郷

- 人口 621人
- 世帯数 317世帯
- 高齢化率 57%
- 集落数 16集落



●生活環境・施設 (カッコ内は箇所数)

- 行政サービス 出張所・公民館、駐在所
- 子育て・教育 保育園閉園、小学校閉校 (平成31年)
- 医療・福祉 病院・医院なし
- 生活関連 郵便局(1)、商店(1)
- 交通機関 バス停(21)



一般社団法人 ドリームレッド

「赤郷夢プラン」の実現に向けて設立された
地域振興のための会社

地域自らが**地域資源**を活用した**収益事業**を行うとともに、**地域の問題解決**につながる**生活サービス事業**を複合的に行い、地域に**好循環**を生み出す**持続可能で自立した会社**を目指す

- **設立年月** 令和4年3月
- **事業** 交通・運送、特産品開発、情報発信、地域資源の活用
- **事務所** 赤郷交流センター内
- **従業員数** 26名(令和6年1月現在)
- **役員** 理事9名・監事2名

①交通・運送事業(スクールバスの運行)



スクールバス車両 2台
(デマンド兼用)

■7人乗り(セレナ)

■14人乗り(キャラバン)



①交通・運送事業(デマンドバスの運行)



桜の花見ツアー



カキツバタ鑑賞ツアー

②特産品開発事業



赤郷交流センター調理室

食品加工所として営業許可取得

ドリーム弁当(美東ごぼうなど地元食材を使用)



ファストフード(ごぼうピザ・ライスバーガー)



邑南町出羽地区の取り組み

● コミュニティ × ● 農業 = 地域発展

● 地域自治組織の立ち上げ
(12集落→「出羽自治会」)

* 総務部、生活部、交流部、産業部の設置

将来像の共有

● 「出羽夢づくりプラン」の作成

1,764万円

● 直接支払い11協定の大合併

会計事務

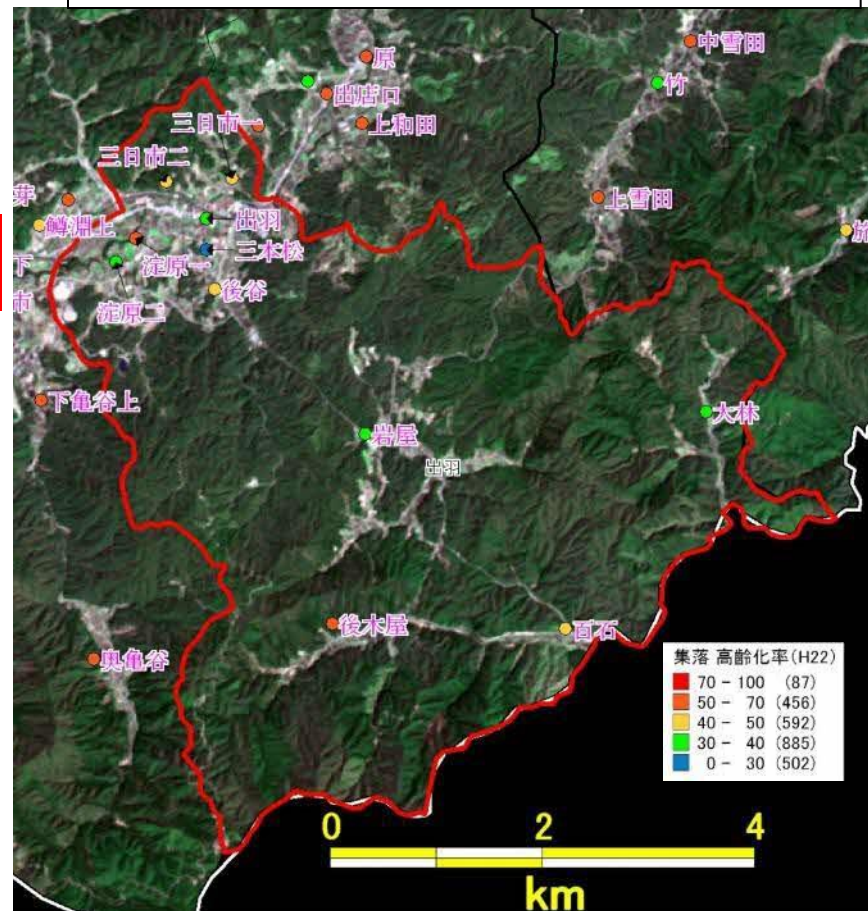
● 人材バンク
(お助け
隊) 設立

● 地域マ
ネージャー
雇用

● 耕作放棄地2ha再生

人口913人、高齢化率37.8%
集落数 12 (2010年)

出羽公民館区



出羽自治会

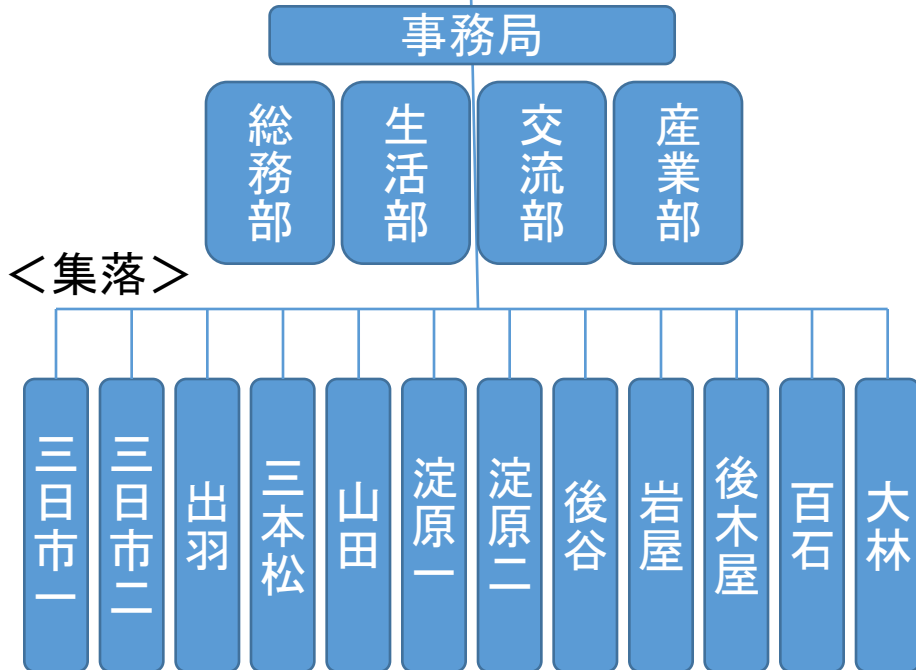
= 出羽公民館エリア



連携

合同会社 出羽

自治会の機能だけでは難しい、収益事業、空き家対策、産業等について、機動的に対応できる実働部隊として2013年に設立。資本金539万円 出資社員17名(設立時6万円、6名)

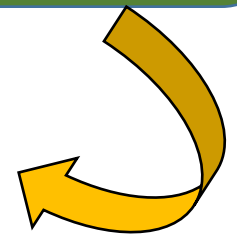


農業部門
農地集積32ha
放棄地活用
新規就農支援

定住部門
空き家活用
(修繕、賃貸)
起業支援

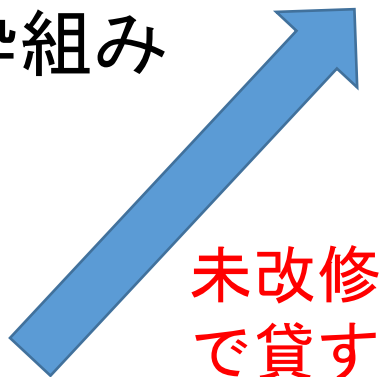


* 今年、
2代目
就任



起業支援
でパン屋も
オープン

島根県邑南町
出羽地区の
空き家活用の
枠組み



所有者

合同会社 出羽

表裏一体

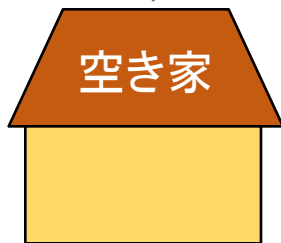
地元自治組織

改修し
貸し出し
家賃収入

連携

地元工務店

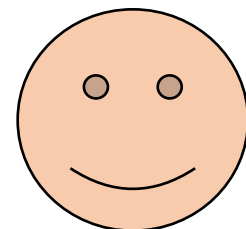
工事実施



空き家



安い家賃
1～2万円



移住者

融資や
助成金

県・定住財団

金融機関

空き家の活用事例(出羽地区RMO活動事例資料より)

連携事業(自治会+LLC出羽)

自治会リクナビ事業
(Iターン者3名)
+
LLC空き家活用事業
農業・お好み焼き店

施工後



施工前

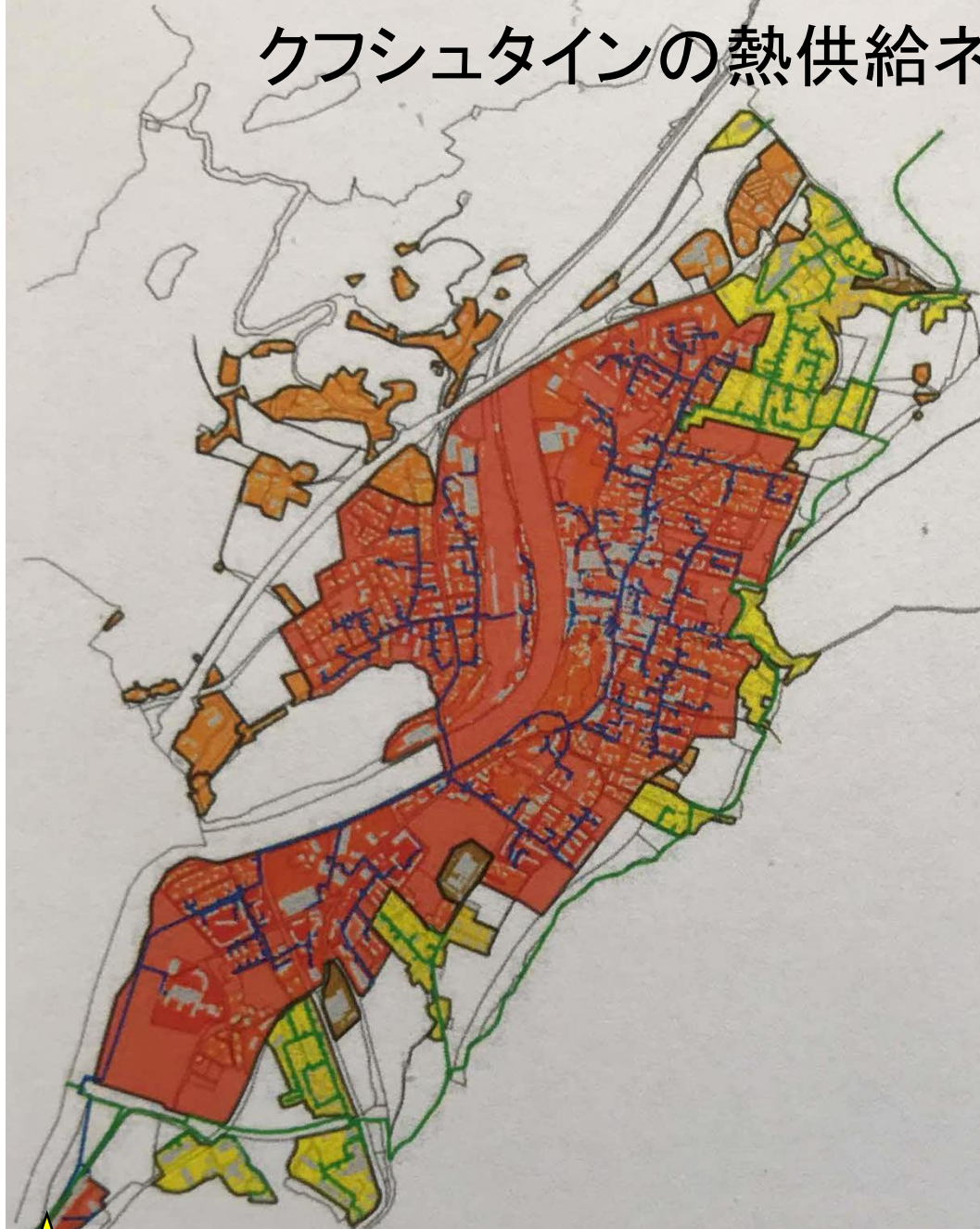


オーストリア・クフシュタイン(14,000人)
～歩く、出会う、憩う、話す空間づくり



地下には、熱供給管が整備

クフシュタインの熱供給ネットワーク



Legende

Versorgungsgebiete

- Fernwärme
- Erdgas
- Dezentrale Anlagen
- Industrielle Einzellösungen

Energiedichte

(im Hintergrund)

- < 150 MWh/ ha a
- 150-300 MWh/ ha a
- 300-450 MWh/ ha a
- 450-600 MWh/ ha a
- 600-750 MWh/ ha a
- 750-900 MWh/ ha a
- > 900 MWh/ ha a

Fernwärmenetz



Erdgasnetz



Gebäude Kufstein



交通、上下水道、エネルギーを包括的に運営する

「**シュタットベルケ**」*が共同溝により実施

*自治体規模の単位で管理されるインフラ・公共サービスを総合的に運営する公益事業体



森林バイオマスボイラー

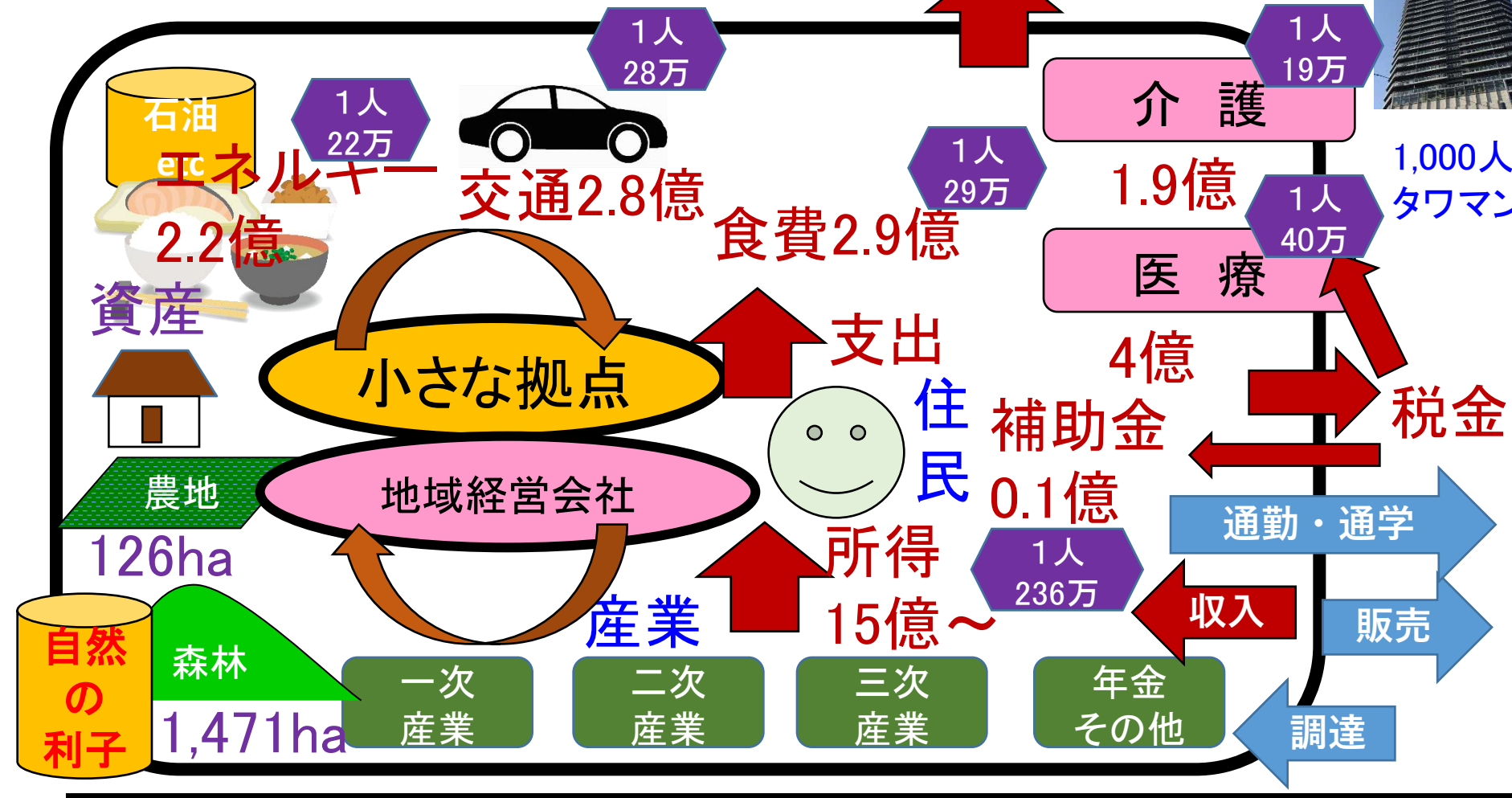
大地の力 & 連結決算で所得を取り戻す！域外流出

1,000人の村のお金の流れ

(3部門で6億)



1,000人の
タワマン



①所得：島根県民平均所得：236万円（2012年、「県民経済計算」島根県）、②補助金：島根県A市における20地区への支払い額から、③食費：2016年島根県邑南町瑞穂地区データより、④交通費：島根県中山間地域世帯（年収400～500万円）平均値57,529円より、⑤エネルギー支払い額：邑南町計算データより、⑥医療費：2017年度国民健康保険データより、⑦介護費：2018年度邑南町データより ⑧農地面積：2010年度の全国中山間地域における1人当たり平均面積から算出、⑨ 森林面積：2010年度の全国中山間地域における1人当たり平均面積から算出

「循環自治区」の3点セット

人口数百人～数千人の一次生活圏を想定

地方ブロック圏・大都市圏

三次生活圏

定住循環圏

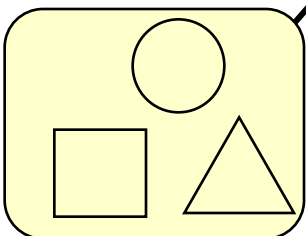
二次生活圏

循環自治区
=みどりの自治区

①制度
○自治区内の自己デザイン権(計画決定権)

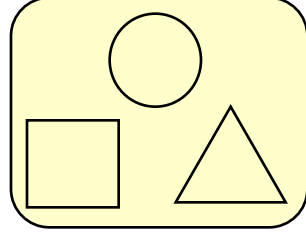
○ローカルコモンズ活用 & プロテクト権(財産区)

○自治区内人材の選定権



②人材

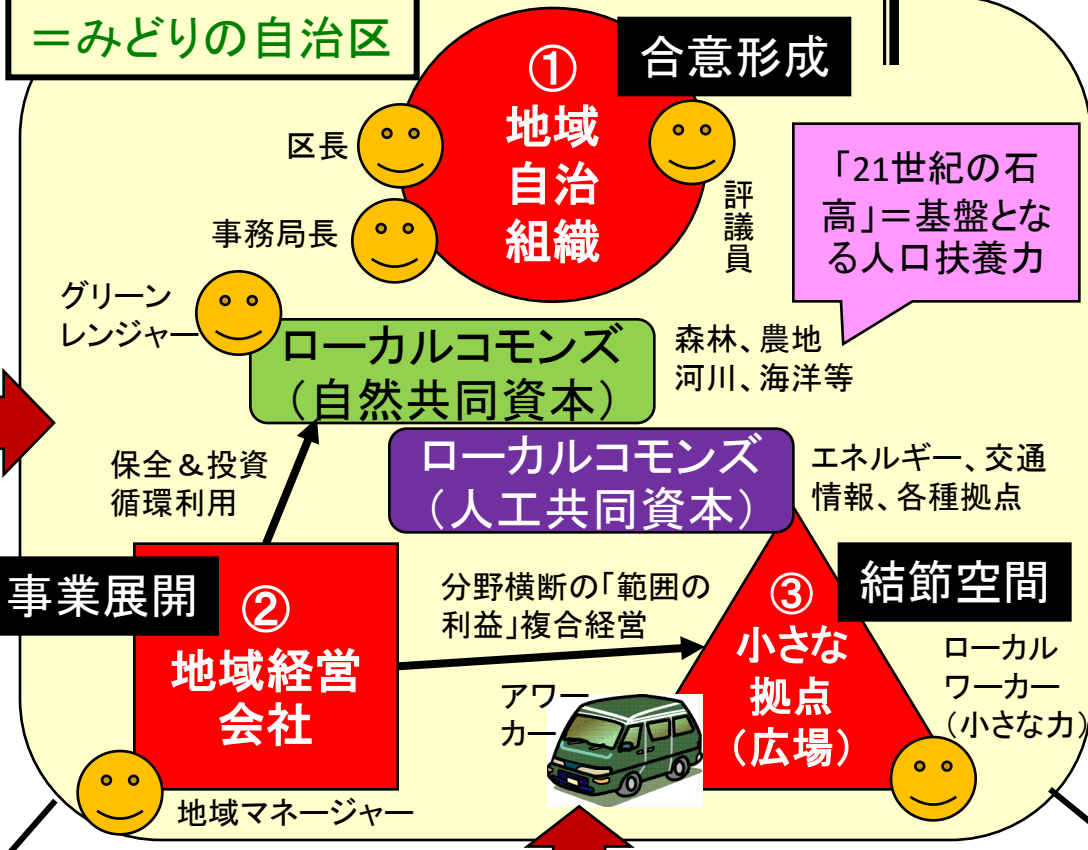
○地域マネージャー、グリーンレンジャーの国民的育成、配置、オープンネットワーク化
○県職員の普及員化による専門人材確保
○「コンマXの社会技術」による住民力結集



③資金
○住民ローカルファンド(長期投資)

○「21世紀の石高」カへの都市住民出資

○分野横断の「連結決算」による最適化

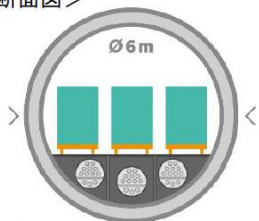


1. スイス地下物流システム

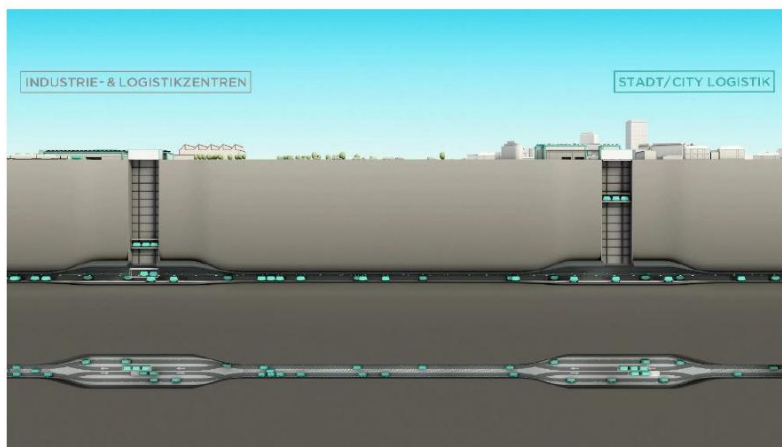
【計画の内容】

- ・地下20m～100mに直径6mの貨物専用トンネルを約500km構築。
- ・自動輸送カートによりトンネル内の3線のレーンを時速30kmで24時間体制で走行。
- ・地下トンネルへはハブ(物流ターミナル)を介して垂直輸送され、ハブにおいて他の交通モードと接続。
- ・トンネルの3レーンのうち2レーンはカートの走行レーン、真ん中の1レーンはメンテナンスや荷物の仕分け等のための空間として活用

<トンネル断面図>



<トンネルと地上の接続イメージ及びトンネルの平面図>



<トンネル内部イメージ>

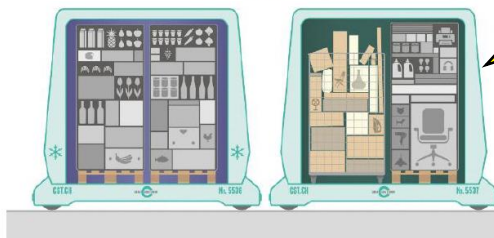


スイスは、地下トンネル型の自動物流システム整備に着手
(日本では、高速道路上に整備か?)

スマートコンテナによる
少量多品種・入れ子・複
合輸送網の可能性

ローカル commons の
各圏域をつなぐ
インターローカル
commons

出典: Cargo Sous Terrain社HP



(参考)AGV

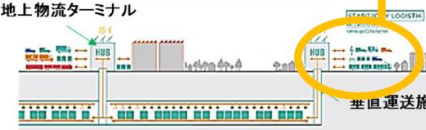
出典: Cargo Sous Terrain社HP
MIGROS社提供資料
ダイフクHP



<地上ロボット>



地上物流ターミナル



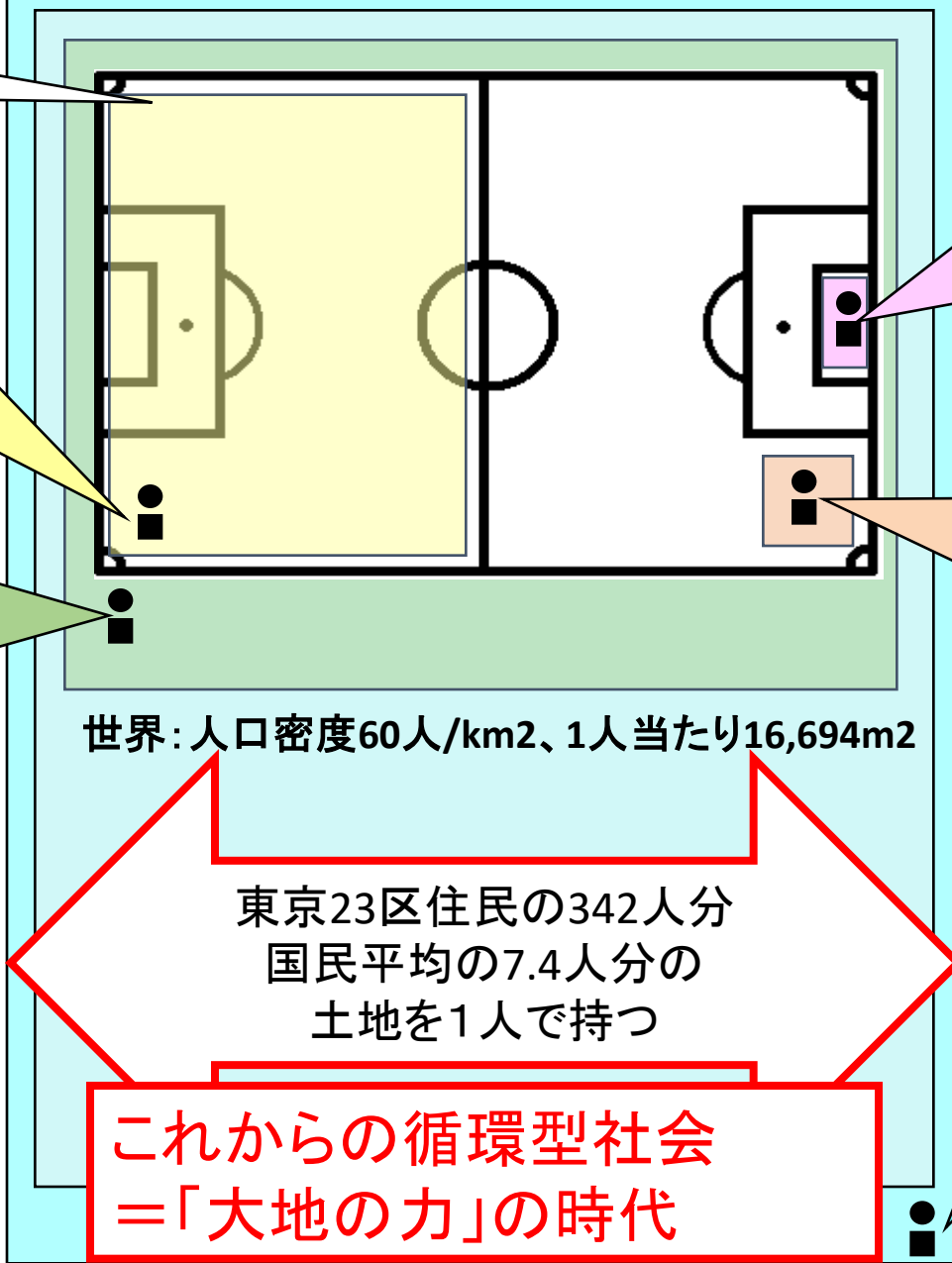
● 1人あたり面積の比較～鳥取県6,329m²(158人/km²)

サッカーコート:
全体面7,140m²

全国1億2615万人
人口密度
338人/km²
1人あたり
2,955m²

島根県67万人
人口密度
100人/km²
1人あたり
10,000m²

上越市19万人
188人/km²
1人あたり
5,319m²



東京23区:
人口密度
15,511人/km²
1人あたり
64m²

973万人
全国人口集中
地区(DID):
人口密度
6,663人/km²
1人あたり
150m²

8,829万人(70%)
全国過疎地域:
人口密度
46人/km²
1人あたり
21,882m²

世界:人口密度60人/km²、1人あたり16,694m²

東京23区住民の342人分
国民平均の7.4人分の
土地を1人で持つ

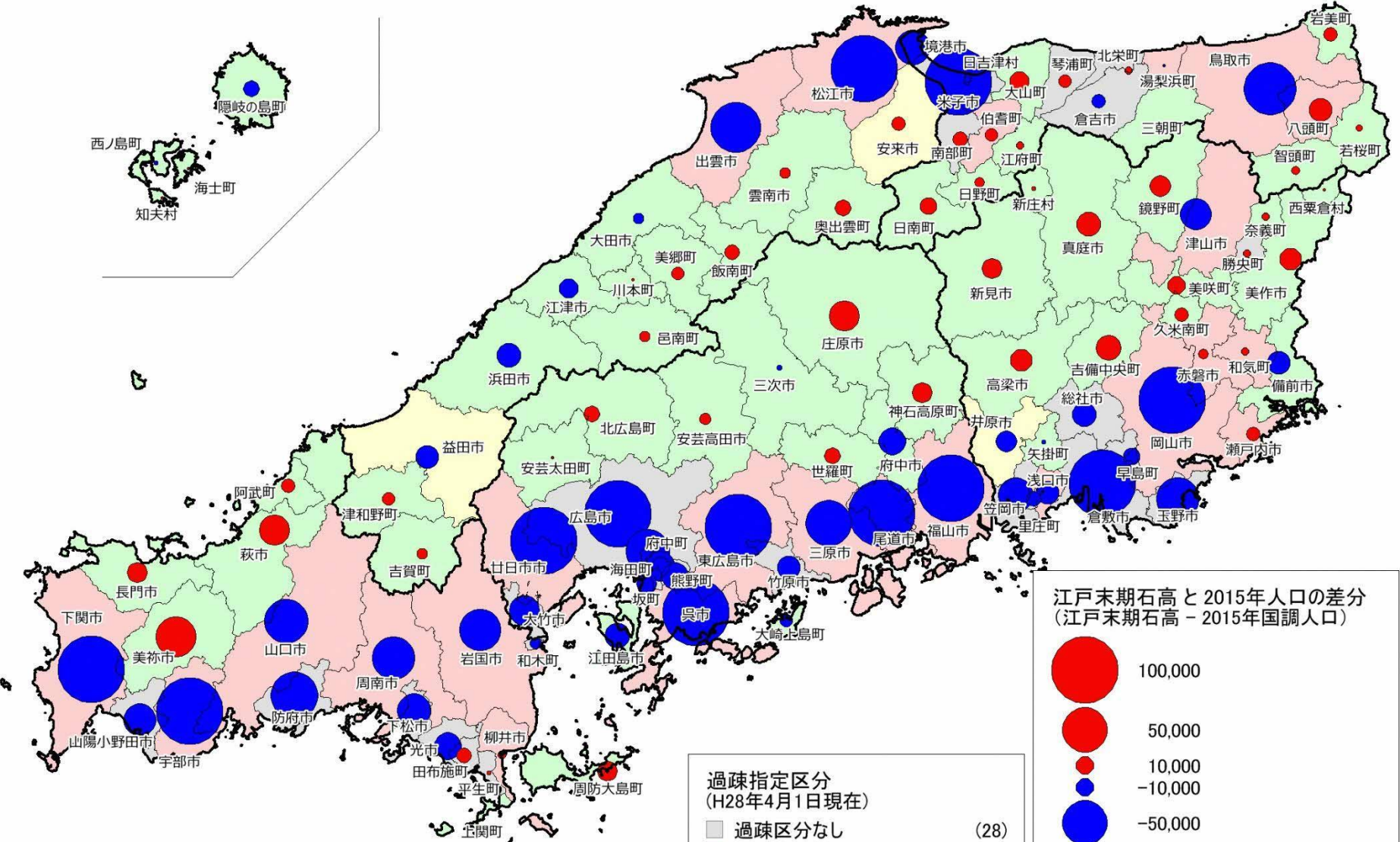
これからの循環型社会
=「大地の力」の時代

* 人口数値:2020年国勢調査

1,035万人

江戸時代石高と現在人口の比較例

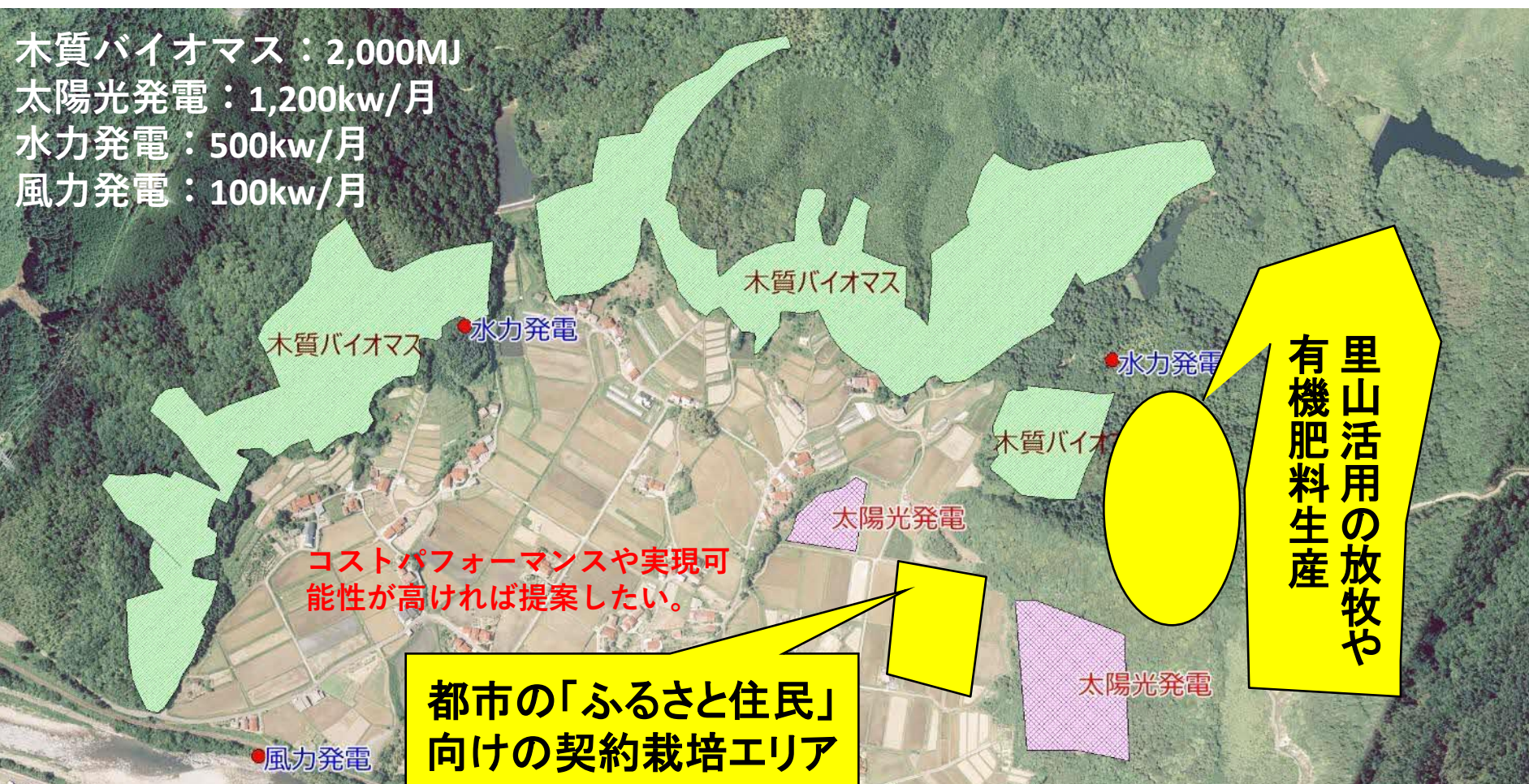
* 日南町: 6,643石 ⇔ 3,998人 →先着2千名様宣言！を



人口減で困っているからではなく、
長期的な持続可能性があるから定住！

食料やエネルギー、肥料等の域内循環とローカルコモンズの共同管理

木質バイオマス：2,000MJ
太陽光発電：1,200kw/月
水力発電：500kw/月
風力発電：100kw/月



持続可能な食料やエネルギーの供給力を「21世紀の石高」として見える化



農林地デジタルマップによる分野横断「農村計画法」+自治区プラン、「令和の国民検地」をレンジャー配置により推進

疎開保険で関係人口&「パートナーエリア」形成

萩市
「萩フレンド
保険」実施

想定 いざという時は、
鳥取県へ！

智頭町

南海トラフ地震

首都直下地震

将来は「食料保険」へ進化

NHK

自治体発！
自治体初！

災害時に
備える

いざというとき
智頭町が行う援助の手

智頭町「疎開」保険

ちづちょう そかいほけん

「疎開保険」とは、鳥取県智頭町が独自に企画した
災害を切り口とする地域間交流、物流、商流による地域おこしです

広域的な災害連携
の必要性